

2024年12月19日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

おひとりさまに関する調査 2024

～おひとりさまの現在の貯蓄額「ない」は4人に1人～
全体の平均は677万円、2022年調査から30万円減少

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の未婚男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「おひとりさまに関する調査2024」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

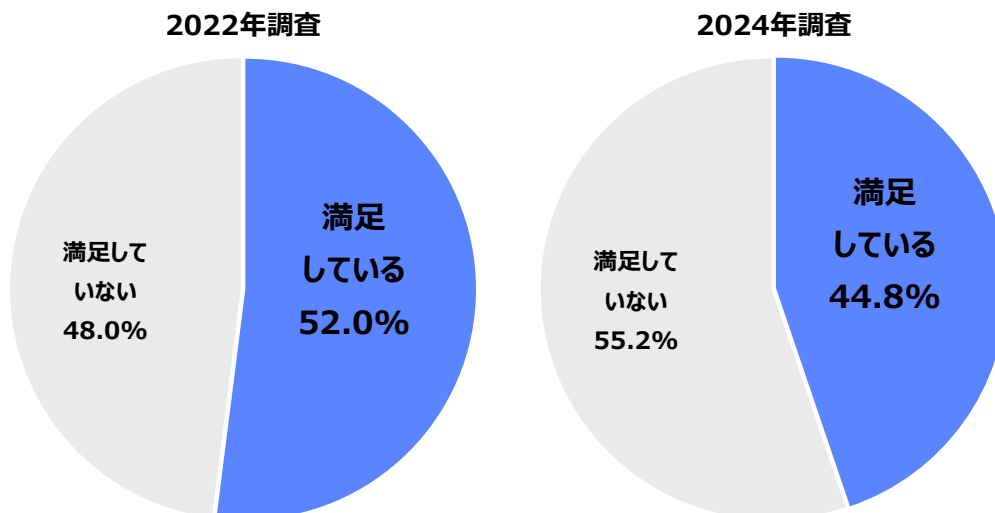
◆おひとりさまの生活満足度

満足層は全体の45%、2022年調査から7ポイント下降

現在の生活に満足しているかを聞くと、「満足している」は44.8%、「満足していない」は55.2%。不満足層が満足層を上回る結果となりました。

前回の2022年調査と比較すると、満足している人の割合は、2022年52.0%→2024年44.8%と、7.2ポイント下降しました。

Q. 現在の生活に満足している？



※2022年調査：『おひとりさまに関する調査 2022』（2022年12月22日発表）

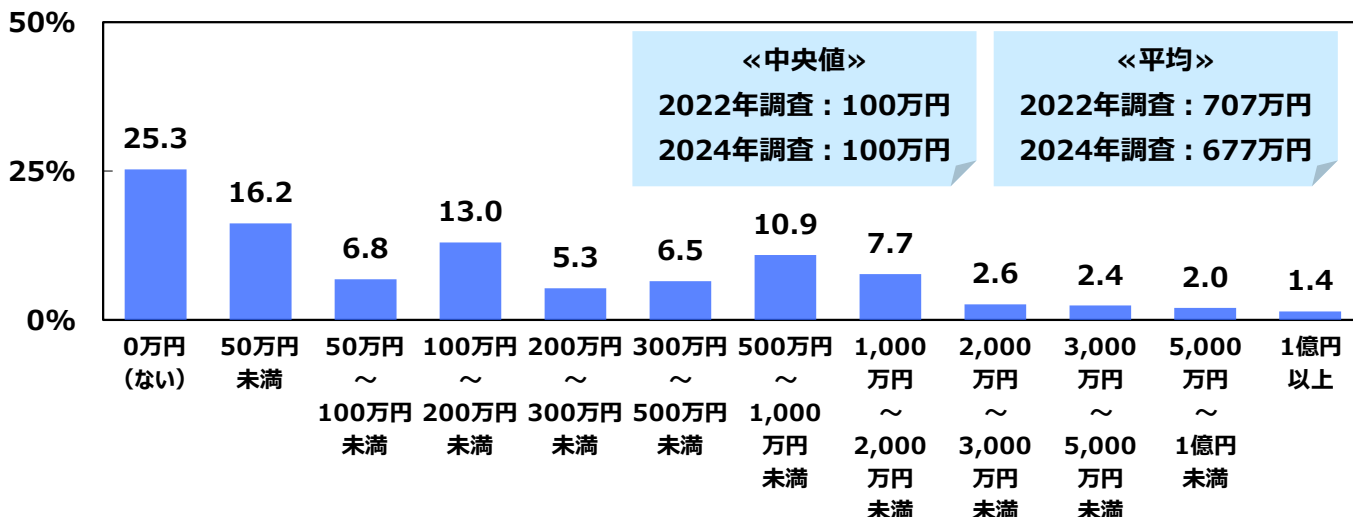
https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221222.pdf

◆おひとりさまの現在の貯蓄額 「ない」は4人に1人
全体の平均は677万円、2022年調査から30万円減少

現在の貯蓄額を聞くと、平均は677万円。また、貯蓄額がない人の割合は25.3%でした。

前回の2022年調査と比較すると、現在の貯蓄額の平均は、全体では30万円の減少（2022年707万円→2024年677万円）となりました。止まらない物価上昇などにより生活コストが増えたことで、家計の貯蓄余力が低下しているのではないのでしょうか。

Q. 現在の貯蓄額は？



※2022年調査：『おひとりさまに関する調査 2022』（2022年12月22日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221222.pdf

◆おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人
男性回答1位は「新垣結衣さん」、女性回答1位は「福山雅治さん」

おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人を聞くと、「福山雅治さん」が総合および全年代でトップでした。

また、男性回答では1位「新垣結衣さん」、2位「岡村隆史さん」、3位は「福山雅治さん」、女性回答では1位「福山雅治さん」、2位「木村拓哉さん」、3位「新垣結衣さん」「佐々木蔵之介さん」「堂本剛さん」「二宮和也さん」という結果に。

理由をみると、男性回答1位の新垣結衣さんでは「独身の希望になってほしかった」や「推しの芸能人なので」、女性回答1位の福山雅治さんでは「永遠の憧れでいてほしかった」や「素敵な男性だから」といった回答が寄せられました。

Q. おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人は？

全体			男性回答			女性回答		
1位	福山雅治	125名	1位	新垣結衣	43名	1位	福山雅治	90名
2位	新垣結衣	57名	2位	岡村隆史	39名	2位	木村拓哉	27名
3位	岡村隆史	51名	3位	福山雅治	35名	3位	新垣結衣	14名
4位	木村拓哉	39名	4位	松本人志	23名		佐々木蔵之介	
5位	有吉弘行	29名	5位	有吉弘行	21名		堂本剛	
							二宮和也	

調査結果 index

◆おひとりさまの生活について

……p.5~10

・おひとりさまの生活満足度 満足層は全体の45%、2022年調査から7ポイント下降

男性では兵庫県が1位、女性では神奈川県が1位

・自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”を100点満点で評価すると？ 全体平均は50.2点

“やさしさ”実感の評価が高い都道府県 1位「福岡県」59.1点、2位「東京都」58.9点、3位「埼玉県」57.8点

・“独身でいることの良さ”を実感したエピソード

「推しのライブに気兼ねなく行くことができたときは独身で良かったと思った」

「転職、現役引退などを自分の都合だけで判断することができたのは良かった」

「職場の人からパートナーに対する愚痴等を聞くと独身で良かったと思う」など

・“独身ならではの苦勞”を実感したエピソード 「インフルエンザに感染した際、食料を買いに出かけられなかった」

「イベント時に外出すると家族連ればかりで居づらく感じた」「友人の子どもの話や夫婦の話についていけなかった」

「楽しさ、嬉しさという感情の共有ができないときは寂しいと感じる」「残業は独身がやればよいと言われた」など

◆結婚について

……p.11~17

・“結婚 = 幸せ”ではないと思う75%

男性では長野県・島根県・広島県・福岡県・大分県、女性では大阪府が最も高い割合に

・「結婚しないと思う」73%、最も低い20代男性でも47%

男性では山口県、女性では和歌山県が最も高い割合に

・結婚していない理由

男性では1位「自分の収入が少ない」2位「年齢的にもう遅いと思う」3位が「自分は結婚に向かないと思う」

女性では1位「自分は結婚に向かないと思う」2位「結婚したい相手と出会えない」3位が「自由に時間を使いたい」

・自身の周囲で最も“結婚の良さ”を感じさせてくれる人 1位「友人」2位「兄弟姉妹」3位「母親」

・自身の周囲で最も“結婚の大変さ”を感じさせる人 1位「母親」2位「友人」3位「兄弟姉妹」

◆マネー事情について

……p.18~26

・おひとりさまの現在の貯蓄額 「ない」は4人に1人

全体の平均は677万円、2022年調査から30万円減少

都道府県別では1位「神奈川県」1,085万円、2位「岐阜県」1,081万円、3位「兵庫県」1,073万円

・老後に備えてリタイアまでに準備したいお金

全体の平均は2,196万円、男性では2,375万円、女性では2,017万円

都道府県別では1位「神奈川県」4,040万円、2位「東京都」3,127万円、3位「茨城県」3,075万円

・おひとりさまの支出実態

半数以上が“友人との交流”“ストレス発散”には「お金を使う」、 “旅行・レジャー”“健康増進”には「お金の使わない」

・1カ月の平均支出額

「友人との交流」8,472円、「旅行・レジャー」9,235円、「健康増進」3,451円、「ストレス発散」8,998円

・1カ月に友人との交流に使っているお金（平均） 1位「沖縄県」16,560円、2位「京都府」12,310円

・1カ月に旅行・レジャーに使っているお金（平均） 1位「埼玉県」13,295円、2位「岡山県」12,530円

・1カ月に健康増進のために使っているお金（平均） 1位「神奈川県」5,695円、2位「埼玉県」5,056円

・1カ月にストレス発散に使っているお金（平均） 1位「長崎県」13,793円、2位「滋賀県」12,400円

◆将来への不安について ……p.27

・将来について不安を感じる事 TOP2は「老後の生活費」「自身の病気」

男性では「自身の病気」、女性では「老後の生活費」が1位

◆“ひとり○○”について ……p.28～29

・一人で行う“ひとり○○”への抵抗感 半数以上が「抵抗がある」と感じるのは

“ひとり焼き肉”“ひとり海外旅行”“ひとりバイキング・ビュッフェ”“ひとりコース料理”“ひとり遊園地”

◆“おひとりさまあるある”について ……p.30～31

・“おひとりさまあるある”

TOP3「ふと将来が不安になることがある」「体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う」「よく独り言を言う」

◆“おひとりさま”と芸能人 ……p.32～35

・おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人

1位「明石家さんまさん」2位「今田耕司さん」3位「天海祐希さん」

20代では「いとうあさこさん」が1位

・おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人

男性回答1位は「新垣結衣さん」、女性回答1位は「福山雅治さん」

・おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人

1位「ファーストサマーウイカさん」2位「田中圭さん」3位「志田未来さん」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆おひとりさまの生活について

・おひとりさまの生活満足度 満足層は全体の 45%、2022 年調査から 7 ポイント下降

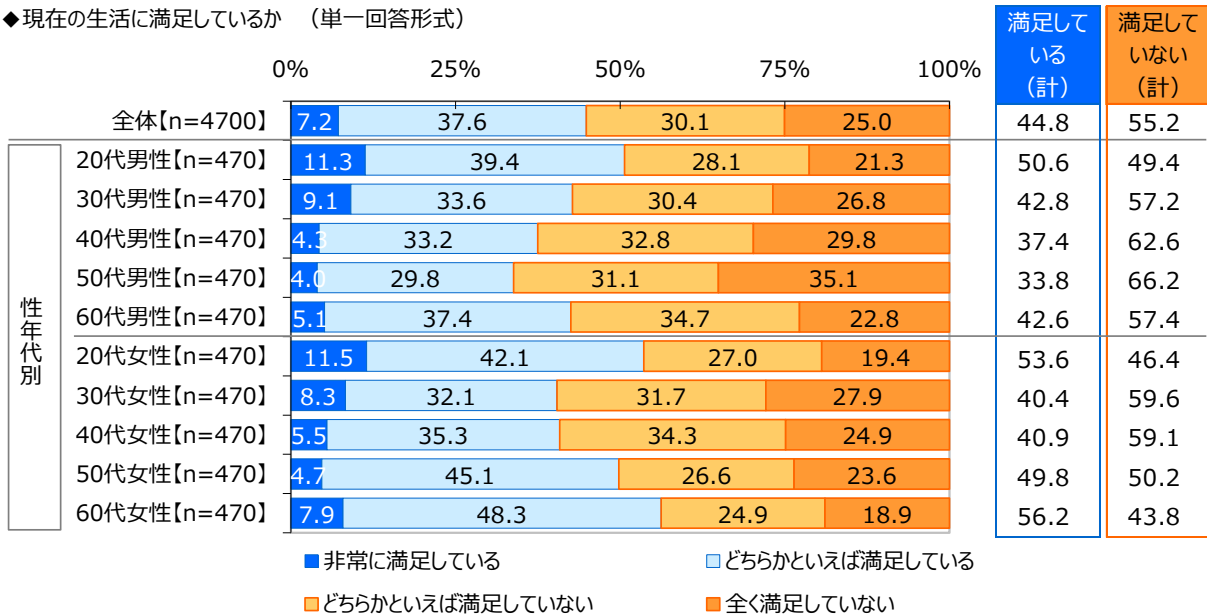
男性では兵庫県が 1 位、女性では神奈川県が 1 位

全国の 20 歳～69 歳の未婚男女 4,700 名（全回答者）に対し、おひとりさまの生活について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、現在の生活に満足しているか聞いたところ、「非常に満足している」が 7.2%、「どちらかといえば満足している」が 37.6%で、合計した『満足している（計）』は 44.8%、「全く満足していない」が 25.0%、「どちらかといえば満足していない」が 30.1%で、合計した『満足していない（計）』は 55.2%と、不満層が満足層を上回る結果となりました。

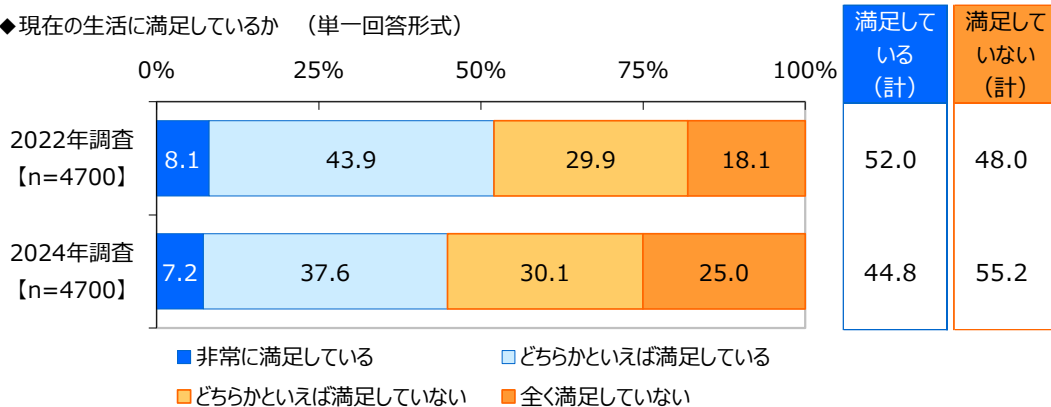
性年代別にみると、現在の生活に満足している人の割合は、男性では 20 代（50.6%）、女性では 60 代（56.2%）が最も高くなりました。

◆現在の生活に満足しているか（単一回答形式）



前回の調査結果と比較すると、満足している人の割合は、2022 年 52.0%→2024 年 44.8%と、7.2 ポイントの下降となりました。

◆現在の生活に満足しているか（単一回答形式）



※2022 年調査：『おひとりさまに関する調査 2022』（2022 年 12 月 22 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221222.pdf

男女・都道府県別にみると、現在の生活に満足している人の割合が最も高くなったのは、男性では兵庫県（62.0%）、女性では神奈川県（64.0%）、最も低くなったのは、男性では同率で秋田県、群馬県、和歌山県（いずれも 28.0%）、女性では同率で群馬県・島根県（いずれも 34.0%）と、それぞれ 30 ポイント以上の差が開きました。

◆現在の生活に満足している人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%	
1位	兵庫県	62.0	8位	山梨県	46.0	20位	高知県	42.0	34位	鳥取県	38.0	
				三重県	46.0		大分県	42.0		佐賀県	38.0	
愛媛県	46.0	宮崎県		42.0	38位		奈良県	36.0				
福岡県	46.0			茨城県			40.0	香川県	36.0			
2位	神奈川県	54.0		熊本県	46.0	埼玉県	40.0	40位	福井県	34.0		
				福島県	46.0		新潟県		40.0	静岡県	34.0	
3位	広島県	50.0		17位	栃木県	44.0	27位	富山県	40.0	42位	長野県	32.0
					徳島県	44.0		大阪府	40.0		滋賀県	32.0
4位	岩手県	48.0	20位	岐阜県	42.0	34位	島根県	40.0	44位	千葉県	30.0	
	石川県	48.0		愛知県	42.0		秋田県	28.0				
	京都府	48.0		岡山県	42.0		45位	群馬県	28.0			
鹿児島県	48.0	山口県	42.0	和歌山県	28.0							
8位	宮城県	46.0										
	山形県	46.0										
	福島県	46.0										
	東京都	46.0										

女性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%	
1位	神奈川県	64.0	10位	高知県	54.0	22位	香川県	50.0	35位	鹿児島県	42.0	
				北海道	52.0		25位	静岡県		48.0	37位	秋田県
2位	京都府	62.0		茨城県	52.0	長崎県		48.0	千葉県	40.0		
	愛媛県	62.0		埼玉県	52.0		石川県	46.0		山形県	38.0	
5位	大分県	62.0		13位	新潟県	52.0		27位	三重県		46.0	39位
	福岡県	60.0			長野県	52.0	和歌山県		46.0	福井県	38.0	
6位	滋賀県	58.0		岐阜県	52.0	鳥取県	46.0	宮城県	36.0			
	宮崎県	58.0		兵庫県	52.0		岩手県		44.0	42位	福島県	36.0
8位	栃木県	56.0		岡山県	52.0	31位	東京都	44.0	愛知県		36.0	
	熊本県	56.0		沖縄県	52.0		広島県	44.0	佐賀県	36.0		
10位	山梨県	54.0	22位	大阪府	50.0	35位	山口県	44.0	46位	群馬県	34.0	
	奈良県	54.0		徳島県	50.0		青森県	42.0		島根県	34.0	

また、「100点」を回答した人の割合と「0点」を回答した人の割合をみると、「100点」を回答した人の割合は1位が東京都（14.0%）、2位が宮城県と沖縄県（いずれも13.0%）、「0点」を回答した人の割合は1位が富山県（19.0%）、2位が福井県（16.0%）、3位が香川県と愛媛県と大分県（いずれも15.0%）でした。

◆自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”実感の評価（数値入力形式）
各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「100点」を回答した人の割合			「0点」を回答した人の割合		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	東京都	14.0	1位	富山県	19.0
2位	宮城県	13.0	2位	福井県	16.0
	沖縄県	13.0		香川県	15.0
4位	北海道	12.0	3位	愛媛県	15.0
	秋田県	11.0		大分県	15.0
	埼玉県	11.0	6位	宮城県	14.0
5位	石川県	11.0		秋田県	14.0
	京都府	11.0	8位	群馬県	13.0
	鹿児島県	11.0		神奈川県	12.0
10位	茨城県/山梨県 大阪府/鳥取県 徳島県/愛媛県 熊本県/大分県	10.0	9位	石川県	12.0
				愛知県	12.0
				滋賀県	12.0

男女・都道府県別にみると、平均は男性では1位が徳島県（58.5点）、2位が福岡県（58.3点）、3位が大阪府（57.6点）、女性では1位が埼玉県（62.3点）、2位が東京都（61.8点）、3位が福岡県（59.9点）でした。

◆自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”実感の評価（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均
1位	徳島県	58.5点	12位	茨城県	53.7点	24位	鹿児島県	51.2点	36位	奈良県	48.3点
2位	福岡県	58.3点	13位	埼玉県	53.3点	25位	高知県	51.1点	37位	長崎県	47.4点
3位	大阪府	57.6点	14位	宮城県	53.2点	26位	千葉県	50.5点	38位	福島県	47.1点
4位	沖縄県	56.0点	15位	岩手県	53.1点	27位	静岡県	49.8点	39位	愛知県	47.0点
5位	東京都	55.9点		熊本県	53.1点	28位	山形県	49.6点	40位	福井県	46.1点
6位	愛媛県	55.7点	17位	山梨県	52.4点		三重県	49.6点	41位	富山県	45.6点
7位	北海道	55.4点	18位	島根県	51.9点	30位	宮崎県	49.5点	42位	岡山県	45.5点
8位	石川県	54.6点	19位	神奈川県	51.8点	31位	鳥取県	49.4点	43位	大分県	45.3点
	京都府	54.6点	20位	佐賀県	51.7点	32位	長野県	49.0点	44位	和歌山県	45.1点
10位	広島県	53.9点	21位	兵庫県	51.6点		香川県	49.0点	45位	群馬県	44.2点
	山口県	53.9点	22位	栃木県	51.5点	34位	新潟県	48.5点	46位	秋田県	44.0点
			23位	滋賀県	51.4点		岐阜県	48.5点	47位	青森県	41.3点

女性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均	順位	都道府県	平均
1位	埼玉県	62.3点	12位	岡山県	53.6点	24位	兵庫県	49.0点	36位	山口県	45.2点
2位	東京都	61.8点	13位	京都府	53.1点	25位	石川県	48.8点	38位	高知県	45.2点
3位	福岡県	59.9点	14位	和歌山県	53.0点	26位	静岡県	47.5点	39位	三重県	44.5点
4位	北海道	59.1点	15位	宮崎県	52.9点		鹿児島県	47.5点	40位	香川県	44.0点
5位	新潟県	59.0点	16位	神奈川県	52.5点	28位	秋田県	47.4点	41位	岩手県	43.9点
6位	山梨県	55.2点	17位	沖縄県	52.4点	29位	長崎県	47.2点	42位	山形県	43.4点
7位	千葉県	55.1点	18位	鳥取県	51.5点	30位	栃木県	47.1点	43位	徳島県	43.0点
8位	茨城県	54.9点	19位	奈良県	51.3点	31位	長野県	46.4点	44位	富山県	42.7点
9位	熊本県	54.1点	20位	愛知県	51.1点	32位	愛媛県	46.1点	45位	福井県	42.5点
10位	大分県	53.9点	21位	滋賀県	50.4点	33位	青森県	46.0点	46位	岐阜県	39.5点
			22位	佐賀県	49.5点		宮城県	46.0点	47位	島根県	38.7点
11位	大阪府	53.8点	23位	広島県	49.1点	35位	群馬県	45.5点			

・“独身でいることの良さ”を実感したエピソード

「推しのライブに気兼ねなく行くことができたときは独身で良かったと思った」

「転職、現役引退などを自分の都合だけで判断することができたのは良かった」

「職場の人からパートナーに対する愚痴等を聞くと独身で良かったと思う」など

全回答者（4,700名）に、“独身でいることの良さ”を実感したエピソードを聞いたところ、＜普段の生活・趣味に関すること＞では「推しのライブに気兼ねなく行くことができたときは独身で良かったと思った」や「スポーツ観戦や旅行で世界中を時間にとらわれず回れる。パリオリンピックにも1カ月位観戦旅行できた」といったエピソードがありました。パートナーや家族に気を遣わず自由に行動できたとき、独身で良かったと感じた人が多いのではないのでしょうか。また、「元々一人が好きで、一人で静かな空間にいると、一人っていいな、一人って素晴らしいとしみじみ思う」など、一人であること自体が好きという回答もみられました。

＜お金・仕事に関すること＞では「自分一人の生活なら給料で充分。欲しい物もたいてい買えたり海外旅行にも行けたのは良かった」や「転職、現役引退などを自分の都合だけで判断することができたのは良かった」、「仕事がハードで家事などに時間が割けない。家族がいたら自分の望む仕事や経済的な余裕ができなかったと思う」といったエピソードがありました。働き方を主体的に決められたことや金銭的な余裕を持てたことにメリットを感じた人が多いようです。

＜婚姻関係に関すること＞では「職場の人からパートナーに対する愚痴等を聞くと独身で良かったと思う」や「結婚している人が、家族や旦那、ママ友同士の付き合いで大変だと愚痴っているのを聞き独身で良かったと思った」、「結婚している友人たちが舅や姑の世話などで苦労をしているという話を聞くと、結婚しなくて良かったと思う」といったエピソードがありました。

◆“独身でいることの良さ”を実感したエピソード（自由回答形式） ※抜粋して表示

＜普段の生活・趣味に関すること＞

推しのライブに気兼ねなく行くことができたときは独身で良かったと思った（40代女性・熊本県）

スポーツ観戦や旅行で世界中を時間にとらわれず回れる。パリオリンピックにも1カ月位観戦旅行できた（60代女性・群馬県）

元々一人が好きで、一人で静かな空間にいると、一人っていいな、一人って素晴らしいとしみじみ思う（60代女性・福島県）

同じ独身の友人宅に自由に泊まることができ、泊めることもできたのは良かった（60代女性・宮崎県）

一人で映画を見に行ったりして休日を満喫しているとき、家庭を持っているとこうはいかないだろうと思う（30代男性・和歌山県）

＜お金・仕事に関すること＞

自分一人の生活なら給料で充分。欲しい物もたいてい買えたり海外旅行にも行けたのは良かった（60代女性・兵庫県）

自分の判断だけで早期退職したときは独身で良かったと思った（50代男性・広島県）

転職、現役引退などを自分の都合だけで判断することができたのは良かった（60代男性・石川県）

仕事がハードで家事などに時間が割けない。家族がいたら自分の望む仕事や経済的な余裕ができなかったと思う（60代女性・新潟県）

＜婚姻関係に関すること＞

父の介護のストレスで母も癌になった。独身だと自分だけの健康に気をつければいいのは良いと思った（60代女性・青森県）

既婚者が特に何でもないことでパートナーに怒られているのを見たときは独身で良かったと思った（20代男性・千葉県）

職場の人からパートナーに対する愚痴等を聞くと独身で良かったと思う（30代女性・長崎県）

結婚している人が、家族や旦那、ママ友同士の付き合いで大変だと愚痴っているのを聞き独身で良かったと思った（30代女性・新潟県）

結婚している友人たちが舅や姑の世話などで苦労をしているという話を聞くと、結婚しなくて良かったと思う（60代女性・広島県）

**・“独身ならではの苦労”を実感したエピソード「インフルエンザに感染した際、食料を買いに出かけられなかった」
「イベント時に外出すると家族連ればかりで居づらく感じた」「友人の子どもの話や夫婦の話についていけなかった」
「楽しさ、嬉しさという感情の共有ができないときは寂しいと感じる」「残業は独身がやればよかった」と言われた」など**

反対に、“独身ならではの苦労”を実感したエピソードを聞いたところ、＜病気や怪我のときの支え＞では「インフルエンザに感染した際、食料を買いに出かけられなかった」や「体調不良で寝込んでいるとき、このまま死んでしまったらどうしようと思った」、「体調不良時でも一人で何でもやらなければならなかった」といったエピソードが多数ありました。体調が悪く心身ともにつらい状態なのに、身近に助けてくれる人がいなくて困った経験のある人が多いのではないのでしょうか。

＜外出先に関すること＞では「イベント時に外出すると家族連ればかりで居づらく感じた」や「一人だと入りにくい店に行きづらい」、＜人間関係に関すること＞では「友人の子どもの話や夫婦の話についていけなかった」や「親戚などから会うたびに結婚しろとうるさく言われる」、「結婚しているのかとか、子どもはいるのか、など人から聞かれるのが苦痛」、「楽しさ、嬉しさという感情の共有ができないときは寂しいと感じる」といったエピソードがありました。周囲の状況や周りの人の言動に対し、居心地の悪さや苦痛、寂しさを感じることもあるようです。

＜仕事に関すること＞では「残業は独身がやればよかった」と言われた」や「職場で業務外の役割を押し付けられた」、「教員をしているとき、保護者に『子どもがいないお前に何がわかる』などと罵詈雑言を吐かれた」など、独身であることで理不尽な経験をしたエピソードがみられました。

◆“独身ならではの苦労”を実感したエピソード（自由回答形式） ※抜粋して表示

＜病気や怪我のときの支え＞

インフルエンザに感染した際、食料を買いに出かけられなかった（50代男性・宮城県）
体調不良で寝込んでいるとき、このまま死んでしまったらどうしようと思った（30代女性・三重県）
救急車を呼ばなければならぬときに付き添いになる人がいなくて困った（60代女性・三重県）
体調不良時でも一人で何でもやらなければならなかった（40代男性・山形県）

＜外出先に関すること＞

イベント時に外出すると家族連ればかりで居づらく感じた（50代女性・滋賀県）
一人だと入りにくい店に行きづらい（30代男性・埼玉県）

＜人間関係に関すること＞

友人の子どもの話や夫婦の話についていけなかった（50代女性・長崎県）
親戚などから会うたびに結婚しろとうるさく言われる（50代男性・奈良県）
結婚しているのかとか、子どもはいるのか、など人から聞かれるのが苦痛（50代男性・北海道）
「結婚の良さ」をマウントされたりSNSで幸せそうな投稿を見たりするとつらい（20代女性・宮城県）
親が亡くなったとき、相談できる人や助けてくれる人がいなかった（60代男性・長崎県）
楽しさ、嬉しさという感情の共有ができないときは寂しいと感じる（20代女性・秋田県）

＜仕事に関すること＞

残業は独身がやればよかった（40代女性・静岡県）
職場で業務外の役割を押し付けられた（30代男性・佐賀県）
教員をしているとき、保護者に「子どもがいないお前に何がわかる」などと罵詈雑言を吐かれた（60代女性・広島県）

◆結婚について

・「結婚＝幸せ」ではないと思う」75%

男性では長野県・島根県・広島県・福岡県・大分県、女性では大阪府が最も高い割合に

・「結婚しないと思う」73%、最も低い 20 代男性でも 47%

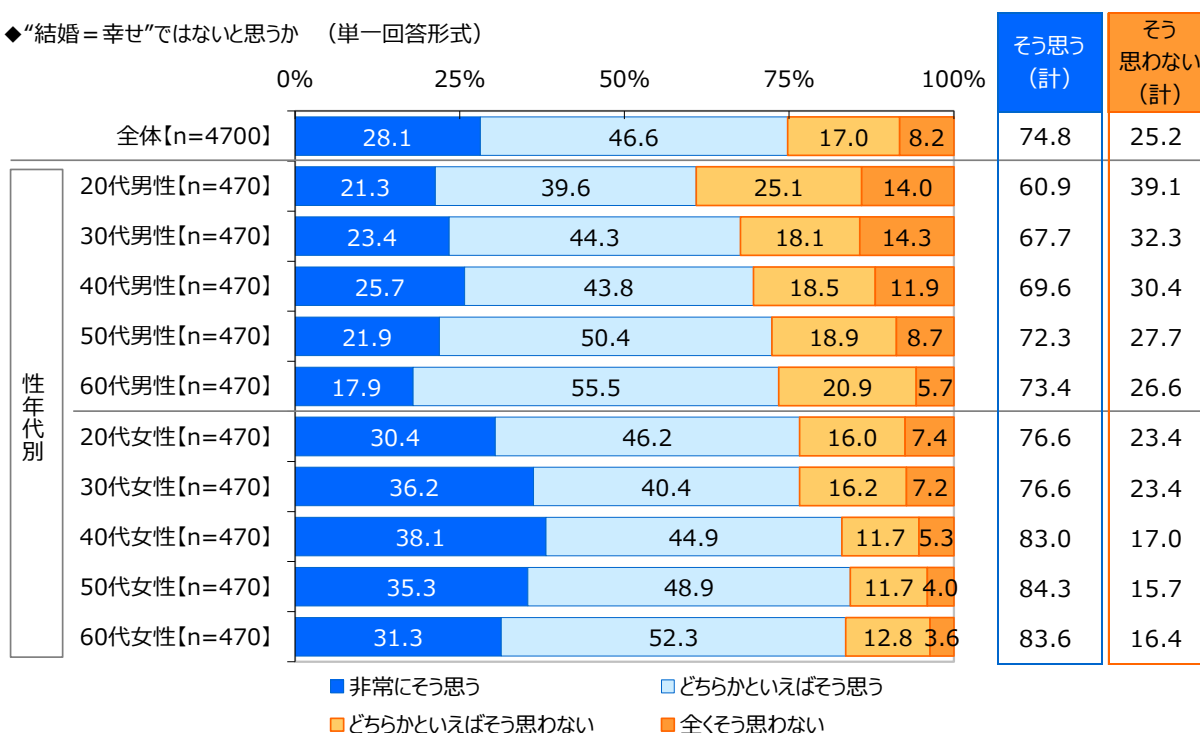
男性では山口県、女性では和歌山県が最も高い割合に

結婚について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、「結婚＝幸せ」ではないと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」が 28.1%、「どちらかといえばそう思う」が 46.6%で、合計した『そう思う（計）』は 74.8%、「全くそう思わない」が 8.2%、「どちらかといえばそう思わない」が 17.0%で、合計した『そう思わない（計）』は 25.2%となりました。

性年代別にみると、『そう思う（計）』と回答した人の割合は、20 代では男性 60.9%、女性 76.6%と、15.7 ポイント差が開きました。若年層では、結婚をして必ずしも幸せになれるわけではないと感じていたり、結婚以外にも幸せを見出していたりするなど、多様な価値基準をもつ人が男性より女性に多いのではないのでしょうか。

◆「結婚＝幸せ」ではないと思うか（単一回答形式）



男女・都道府県別にみると、“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合が最も高くなったのは、男性では同率で長野県、島根県、広島県、福岡県、大分県（いずれも 80.0%）、女性では大阪府（94.0%）でした。他方、“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合が最も低くなったのは男性・女性ともに福島県（男性 56.0%、女性 68.0%）でした。

◆“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	長野県 島根県 広島県 福岡県 大分県	80.0	10位	滋賀県	74.0	22位	奈良県	68.0	33位	沖縄県	64.0
				徳島県	74.0		愛媛県	68.0		37位	千葉県
				熊本県	74.0		佐賀県	68.0	新潟県		62.0
			15位	神奈川県	72.0	28位	長崎県	68.0	京都府		62.0
				福井県	72.0		北海道	66.0	香川県	62.0	
愛知県	72.0	宮城県		66.0	高知県		62.0				
6位	三重県	78.0	20位	大阪府	72.0	42位	秋田県	66.0	青森県	60.0	
7位	埼玉県	76.0		岡山県	72.0		山形県	66.0	和歌山県	60.0	
	東京都	76.0	22位	茨城県	70.0	33位	鳥取県	66.0	鹿児島県	60.0	
10位	山口県	76.0		岐阜県	70.0		栃木県	64.0	45位	群馬県	58.0
	岩手県	74.0	富山県	68.0	山梨県		64.0	宮崎県		58.0	
	石川県	74.0	兵庫県	68.0	静岡県	64.0	47位	福島県	56.0		

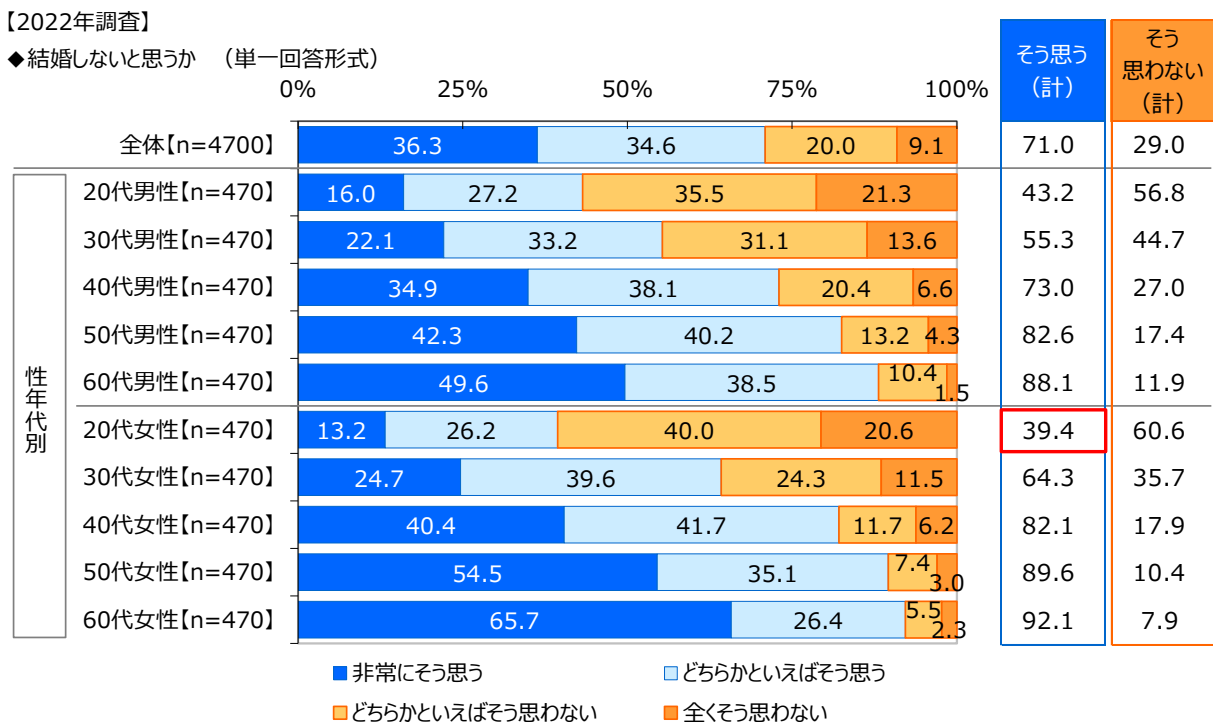
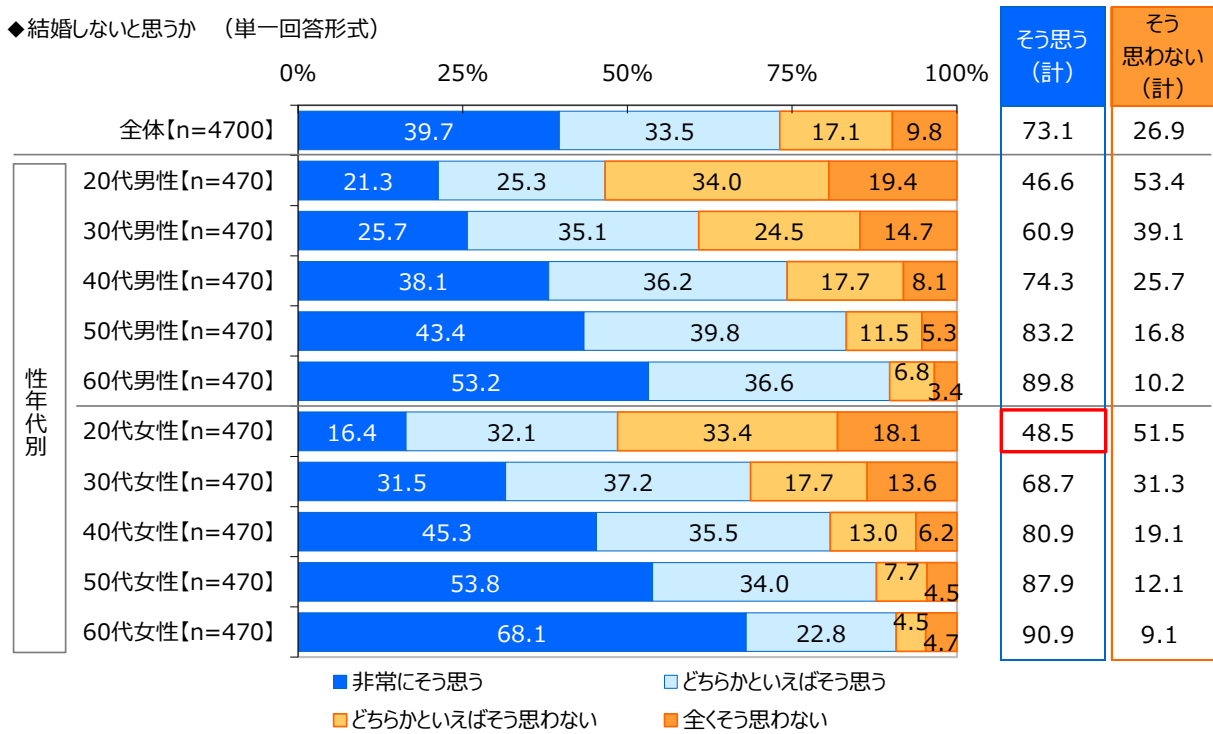
女性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	大阪府	94.0	7位	鳥取県	86.0	24位	青森県	80.0	36位	茨城県	76.0
2位	大分県	92.0		山口県	86.0		秋田県	80.0		埼玉県	76.0
3位	長野県	90.0		福岡県	86.0		栃木県	80.0		熊本県	76.0
	徳島県	90.0	15位	岩手県	84.0	兵庫県	80.0	京都府	74.0		
5位	北海道	88.0		新潟県	84.0	愛媛県	80.0	39位	島根県	74.0	
	愛知県	88.0		富山県	84.0	群馬県	78.0		高知県	74.0	
7位	東京都	86.0	長崎県	84.0	29位	千葉県	78.0	43位	鹿児島県	74.0	
	神奈川県	86.0	19位	山梨県		82.0	石川県		78.0	宮城県	72.0
	岐阜県	86.0		静岡県		82.0	滋賀県	78.0	福井県	72.0	
	三重県	86.0	岡山県	82.0	奈良県	78.0	45位	山形県	70.0		
	和歌山県	86.0	広島県	82.0	佐賀県	78.0		香川県	70.0		
			宮崎県	82.0	沖縄県	78.0	47位	福島県	68.0		

結婚しないと思うか聞いたところ、『そう思う（計）』は 73.1%、『そう思わない（計）』は 26.9%となりました。

性年代別にみると、『そう思う（計）』と回答した人の割合は、30 代以上ではすべての層で半数を超えた一方、20 代でも半数近く（男性 46.6%、女性 48.5%）となりました。結婚しない人生をイメージしている人が若年層にも少なくないようです。

前回の調査結果と比較すると、『そう思う（計）』と回答した人の割合は、20 代女性では 2022 年 39.4%→2024 年 48.5%と、9.1 ポイント上昇しており、上昇幅が最も大きくなりました。



男女・都道府県別にみると、結婚しないと思う人の割合が最も高くなったのは、男性では山口県（86.0%）、女性では和歌山県（90.0%）でした。他方、結婚しないと思う人の割合が最も低くなったのは、男性では大阪府（58.0%）、女性では鹿児島県（58.0%）でした。

◆結婚しないと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	山口県	86.0	8位	高知県	76.0	23位	埼玉県	70.0	33位	長崎県	68.0
2位	滋賀県	84.0		沖縄県	76.0		福井県	70.0	37位	栃木県	66.0
3位	長野県	82.0	14位	山形県	74.0		山梨県	70.0	40位	千葉県	66.0
4位	岩手県	78.0		福島県	74.0		岐阜県	70.0	41位	三重県	66.0
	群馬県	78.0		奈良県	74.0		愛知県	70.0	43位	北海道	64.0
	岡山県	78.0	島根県	74.0	京都府	70.0	47位	青森県	62.0		
8位	福岡県	78.0	19位	大分県	74.0	兵庫県	70.0	宮崎県	62.0		
	宮城県	76.0		神奈川県	72.0	徳島県	70.0	静岡県	60.0		
	茨城県	76.0		新潟県	72.0	佐賀県	70.0	和歌山県	60.0		
	鳥取県	76.0		愛媛県	72.0	東京都	68.0	香川県	60.0		
	広島県	76.0		鹿児島県	72.0	富山県	68.0	熊本県	60.0		
			23位	秋田県	70.0	石川県	68.0	大阪府	58.0		

女性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	和歌山県	90.0	10位	宮城県	78.0	19位	福井県	76.0	33位	長野県	72.0
2位	滋賀県	86.0		栃木県	78.0		静岡県	76.0		兵庫県	72.0
4位	長崎県	86.0		岐阜県	78.0		京都府	76.0		福岡県	72.0
	大阪府	84.0		愛知県	78.0		香川県	76.0		大分県	72.0
6位	鳥取県	84.0		島根県	78.0		佐賀県	76.0		沖縄県	72.0
7位	広島県	82.0	19位	岡山県	78.0	29位	三重県	74.0	41位	福島県	70.0
	北海道	80.0		宮崎県	78.0		徳島県	74.0	43位	石川県	70.0
	山口県	80.0		埼玉県	76.0		愛媛県	74.0	44位	群馬県	68.0
10位	高知県	80.0	19位	千葉県	76.0	33位	熊本県	74.0	45位	秋田県	66.0
	青森県	78.0		東京都	76.0		山形県	72.0	46位	奈良県	64.0
	岩手県	78.0		神奈川県	76.0		茨城県	72.0	47位	山梨県	60.0
				富山県	76.0	新潟県	72.0		鹿児島県	58.0	

・結婚していない理由

男性では 1 位「自分の収入が少ない」2 位「年齢的にもう遅いと思う」3 位が「自分は結婚に向かないと思う」

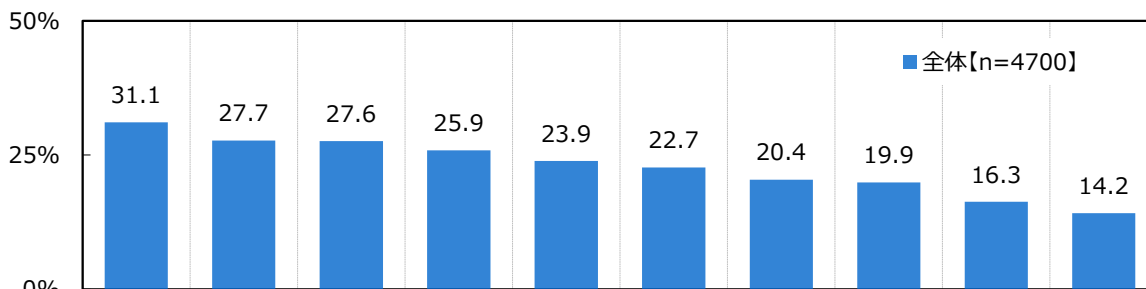
女性では 1 位「自分は結婚に向かないと思う」2 位「結婚したい相手と出会えない」3 位が「自由に時間を使いたい」

全回答者（4,700 名）に、結婚していない理由を聞いたところ、「自分は結婚に向かないと思う」（31.1%）が最も高くなり、「自由に時間を使いたい」（27.7%）、「結婚したい相手と出会えない」（27.6%）、「年齢的にもう遅いと思う」（25.9%）、「結婚生活は大変だと思う」（23.9%）が続きました。

男女別にみると、男性では「自分の収入が少ない」（28.4%）、女性では「自分は結婚に向かないと思う」（36.9%）が 1 位でした。男性は収入の少なさなど金銭面での懸念、女性は結婚後の生活への不安などが、結婚しない大きな理由の一つとなっているようです。また、男性では 2 位が「年齢的にもう遅いと思う」（26.7%）、3 位が「自分は結婚に向かないと思う」（25.4%）、女性では 2 位が「結婚したい相手と出会えない」（31.1%）、3 位が「自由に時間を使いたい」（30.8%）でした。

性年代別に 1 位をみると、男性では 20 代から 40 代が「自分の収入が少ない」、50 代と 60 代が「年齢的にもう遅いと思う」、女性では 20 代が「結婚したい相手と出会えない」、30 代以上が「自分は結婚に向かないと思う」でした。

◆結婚していない理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示



		n数	自分は結婚に向かないと思う	自由に時間を使いたい	結婚したい相手と出会えない	年齢的にもう遅いと思う	結婚生活は大変だと思う	自分の収入が少ない	他人と一緒に生活したくない	自由にお金を使いたい	結婚の良さがわからない	相手方の親戚との付き合いが大変だと思う
	全体	4700	31.1	27.7	27.6	25.9	23.9	22.7	20.4	19.9	16.3	14.2
男女	男性	2350	25.4	24.6	24.2	26.7	19.9	28.4	13.7	19.1	12.0	9.1
	女性	2350	36.9	30.8	31.1	25.1	28.0	17.1	27.1	20.7	20.6	19.4
性年代	20代男性	470	15.7	16.4	14.3	3.6	12.6	18.1	8.1	16.8	7.9	5.3
	30代男性	470	23.6	21.3	21.9	13.8	20.0	27.4	11.7	21.1	13.6	9.4
	40代男性	470	29.1	28.5	25.7	26.6	22.3	33.8	17.7	23.4	17.9	9.8
	50代男性	470	29.4	29.8	30.0	41.1	21.9	37.9	13.2	20.4	13.2	12.6
	60代男性	470	28.9	26.8	28.9	48.5	22.6	24.7	18.1	13.8	7.4	8.3
	20代女性	470	21.9	24.0	25.3	3.2	21.5	18.7	16.0	24.5	10.9	14.9
	30代女性	470	35.3	34.0	33.8	20.6	26.8	24.5	22.8	24.0	23.4	19.6
	40代女性	470	41.3	32.1	36.4	33.0	31.1	22.1	31.7	20.4	26.0	21.5
	50代女性	470	45.5	34.0	33.8	35.7	32.8	13.8	35.3	18.5	27.0	26.0
	60代女性	470	40.2	29.8	26.0	33.0	27.9	6.2	29.6	16.0	15.5	15.1

■全体比+10pt以上/ ■全体比+5pt以上/ ■全体比-5pt以下/ ■全体比-10pt以下

(%)

・自身の周囲で最も“結婚の良さ”を感じさせてくれる人 1位「友人」2位「兄弟姉妹」3位「母親」

全回答者（4,700名）に、自身の周囲で最も“結婚の良さ”を感じさせてくれる人を聞いたところ、1位「友人」（13.1%）、2位「兄弟姉妹」（4.2%）、3位「母親」（3.6%）、4位「職場の先輩・上司」（2.5%）、5位「職場の同僚」（2.1%）となりました。

どのようなところから結婚の良さを感じるか聞いたところ、1位の「友人」では「幸せオーラを感じる」や「価値観が似ていて、同じ趣味を楽しんでいる」、「SNSでの写真を見て幸せそうに感じる」、2位の「兄弟姉妹」では「甥っ子の存在とその家庭の温かさ」や「姉からは夫の悪口を聞いたことがなく、常に仲が良いイメージ」、「20年以上経つのに今でもラブラブ」、3位の「母親」では「家族で笑いあったり、暖かい雰囲気がいっぱいある」や「父親のことが好きであることが、生活していると伝わる」、「父との結婚は幸せだったと言っていた」といった回答がありました。

◆自身の周囲で最も“結婚の良さ”を感じさせてくれる人（単一回答形式） ※上位10位までを表示

	全体[n=4700]	%	どのようなところから結婚の良さを感じるか（自由回答から抜粋）
1位	友人	13.1	幸せオーラを感じる（20代男性・兵庫県） 価値観が似ていて、同じ趣味を楽しんでいる（50代女性・福岡県） 夫婦円満で家族仲がとても良い（60代男性・富山県） お互いに思いやりを持って生活している（40代女性・埼玉県） SNSでの写真を見て幸せそうに感じる（30代男性・神奈川県） 子どもを持って幸せや安心を感じているように思える（60代女性・愛知県）
2位	兄弟姉妹	4.2	お互いに想いあっている感じがする（50代男性・福岡県） 円満な家庭で、見ていてほのぼのする（60代女性・北海道） 甥っ子の存在とその家庭の温かさ（40代男性・沖縄県） 姉からは夫の悪口を聞いたことがなく、常に仲が良いイメージ（50代女性・徳島県） 子どもはいないが、休みには2人で旅をしたり仲が良い（60代男性・大阪府） 20年以上経つのに今でもラブラブ（40代女性・長崎県）
3位	母親	3.6	お互いを信頼し常に笑顔の絶えない家庭を築いた（60代男性・群馬県） いつも父のことを大切に思っている（60代女性・広島県） 日々の生活が充実している（30代男性・茨城県） 家族で笑いあったり、暖かい雰囲気がいっぱいある（40代女性・山形県） 父親のことが好きであることが、生活していると伝わる（20代男性・高知県） 父との結婚は幸せだったと言っていた（60代女性・福井県）
4位	職場の先輩・上司	2.5	いつも家族の話をして幸せそう（30代女性・宮城県） お昼のお弁当が手作り（20代男性・茨城県） 妻が病気のと看、休暇を取って看病に駆けつけた（50代男性・宮城県）
5位	職場の同僚	2.1	家事を分担し、適材適所で役割があり仲が良さそう（30代女性・福岡県） 仕事が終わったらすぐ帰るなど幸せそう（40代男性・山梨県） 職場内恋愛から結婚までの過程を見ていた（20代女性・山形県）
6位	父親	1.5	優しく頼もしく、家族を何よりも大事にしてくれる（50代女性・鹿児島県） 母親のことを今でも大好き（30代女性・高知県）
7位	その他親類 (父母・兄弟姉妹・祖父母以外)	1.2	従姉妹が家族と幸せそうな様子だった（50代女性・東京都） 姪の家庭環境が良い（60代女性・宮城県）
8位	職場の後輩	0.9	仕事と私生活を両立させるのは良いことで微笑ましい（60代男性・兵庫県） 良い夫、良い子どもに恵まれ幸せな生活を送っている（60代女性・長崎県）
	近所の人	0.9	休日の日に家族と笑いながら車を洗ったりしている（60代男性・大分県） よく仲良く散歩したりしている（60代男性・愛知県）
10位	学生時代の先輩	0.8	SNSで結婚後の家族生活の様子を見ると幸せそう（30代女性・岡山県） お互いを理解している感じがしひしと伝わる（40代男性・埼玉県）

・自身の周囲で最も“結婚の大変さ”を感じさせる人 1位「母親」2位「友人」3位「兄弟姉妹」

反対に、自身の周囲で最も“結婚の大変さ”を感じさせる人を聞いたところ、1位「母親」（14.8%）、2位「友人」（12.1%）、3位「兄弟姉妹」（5.0%）、4位「職場の先輩・上司」（4.0%）、5位「職場の同僚」（3.5%）となりました。

どのようなところから結婚の大変さを感じるか聞いたところ、1位の「母親」では「やりたいことを我慢している」や「嫁姑問題で苦労した話を子どもの頃から聞かされている」、「家事・子育てをすべてをしており自分の時間がなかったと思う」、2位の「友人」では「奥さんによく怒られている」や「喧嘩したときの話を聞くと辛そう」、「親戚付き合いなどが大変そう」、3位の「兄弟姉妹」では「いつも夫婦喧嘩をしている」や「子どもの学費や生活費の苦労がある」といった回答がありました。

◆自身の周囲で最も“結婚の大変さ”を感じさせる人（単一回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	%	どのようなところから結婚の大変さを感じるか（自由回答から抜粋）
1位	母親	14.8	やりたいことを我慢している（20代男性・広島県） 嫁姑問題で苦労した話を子どもの頃から聞かされている（30代女性・和歌山県） 父親との意見の食い違いでイライラしている（20代男性・栃木県） お金の苦労しているところを見ると大変さを感じる（40代女性・鹿児島県） 小さいときから父親と喧嘩してとても苦労していた（60代男性・千葉県） 家事・子育てをすべてをしており自分の時間がなかったと思う（40代女性・大分県）
2位	友人	12.1	奥さんによく怒られている（40代男性・長崎県） 相手の愚痴ばかり聞かされる（60代女性・新潟県） 喧嘩したときの話を聞くと辛そう（50代男性・大阪府） 子育てと仕事を両立させているが自分の時間がなさそう（50代女性・茨城県） 時間とお金の自由が少なく居場所がないらしい（30代男性・島根県） 親戚付き合いなどが大変そう（50代女性・兵庫県）
3位	兄弟姉妹	5.0	いつも夫婦喧嘩をしている（60代男性・茨城県） 子どもの学費や生活費の苦労がある（60代女性・大分県） 夫婦の仲が良くない（60代男性・滋賀県） 親の介護や仕事で自由がない（50代女性・埼玉県） お金のことで苦労している（60代男性・埼玉県）
4位	職場の先輩・上司	4.0	子育て資金や家のローンで苦労している（30代男性・群馬県） 働きながら家庭のことを行うのは大変で退職や転職を考えている（20代女性・香川県） 子どもの学校の予定を元にシフトを組まないといけない（20代男性・大阪府）
5位	職場の同僚	3.5	家族に振り回されている（50代女性・宮崎県） 休みの日も家族に時間がとられ自由な時間を持っていない（40代男性・千葉県） 子どもの行事や仕事、自分の体調管理など色々大変そう（40代女性・秋田県）
6位	父親	3.0	母親の尻に敷かれている（20代女性・山口県） 家族を養わないといけない（50代女性・岩手県）
7位	その他親類 (父母・兄弟姉妹・祖父母以外)	2.0	叔父さん夫婦は亭主関白で奥さんを怒鳴ったりしている（60代女性・栃木県） ご主人のことを大切にしない親類がいる（60代男性・鹿児島県）
8位	近所の人	1.1	いつも子どもの世話に追われ、忙しそう姿を見て（20代男性・福島県） 奥さんに頭が上がないのを見ていてつらい（60代男性・愛知県）
9位	学生時代の先輩	0.9	愚痴を聞かされて（60代男性・高知県） 趣味の時間が減りそう（20代男性・香川県）
10位	職場の後輩	0.6	子どもの夜泣きで睡眠時間が短くなったと聞いた（50代男性・鳥取県） まるで自分の時間がない（50代女性・長崎県）

◆マネー事情について

・おひとりさまの現在の貯蓄額 「ない」は 4 人に 1 人

全体の平均は 677 万円、2022 年調査から 30 万円減少

都道府県別では 1 位「神奈川県」1,085 万円、2 位「岐阜県」1,081 万円、3 位「兵庫県」1,073 万円

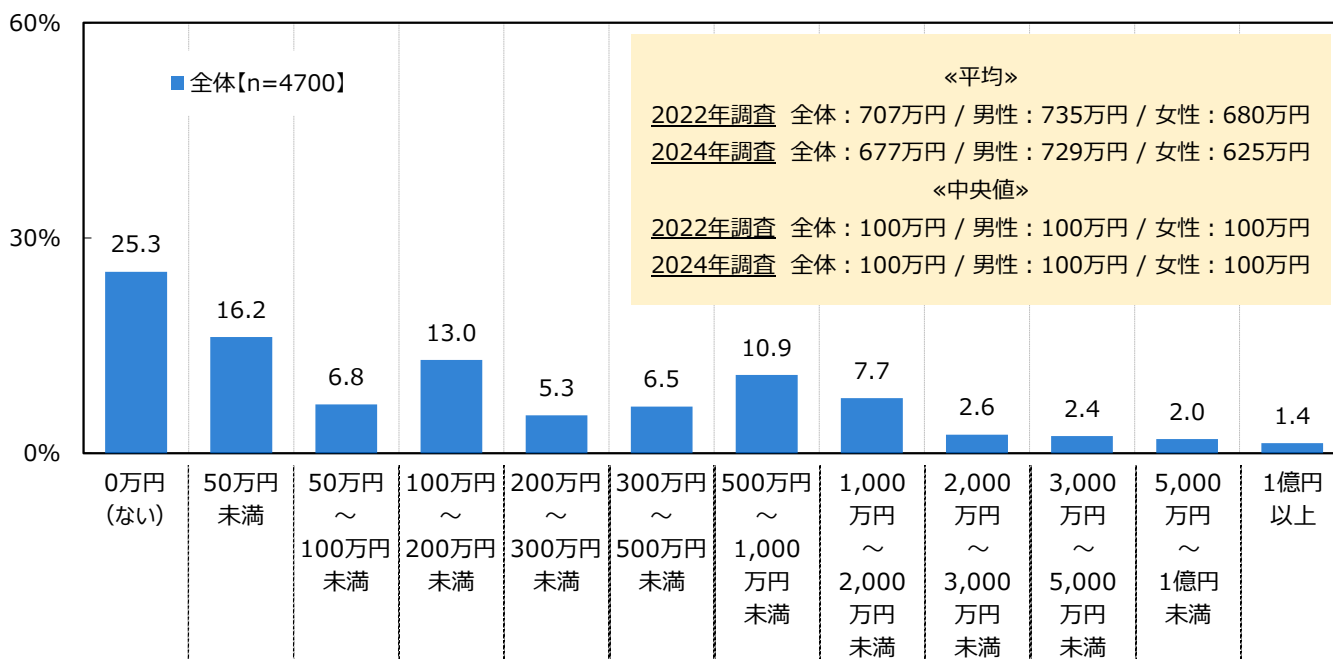
貯蓄や支出などマネー事情について質問しました。

まず、全回答者（4,700 名）に、現在の貯蓄額を聞いたところ、「0 万円（ない）」（25.3%）に最も多くの回答が集まったほか、「50 万円未満」（16.2%）や「100 万円～200 万円未満」（13.0%）、「500 万円～1,000 万円未満」（10.9%）と続き、平均は 677 万円でした。

男女別にみると、現在の貯蓄額の平均は、男性では 729 万円、女性では 625 万円でした。

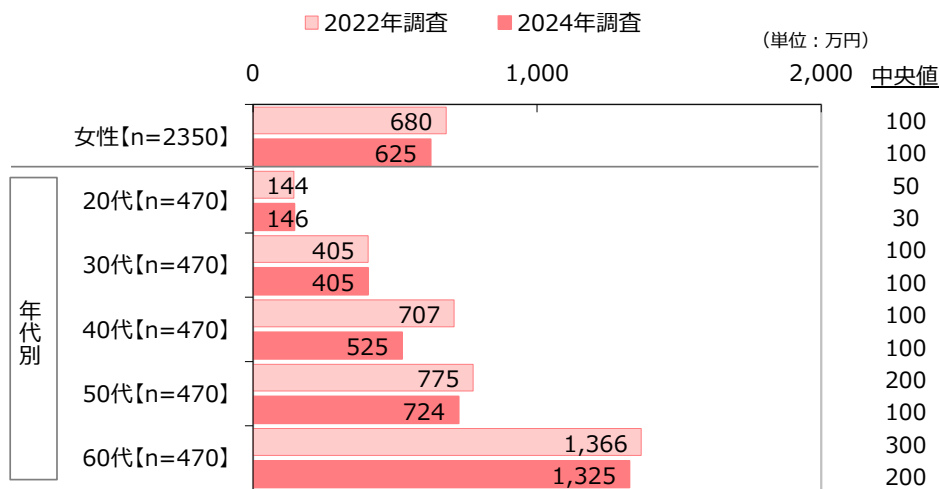
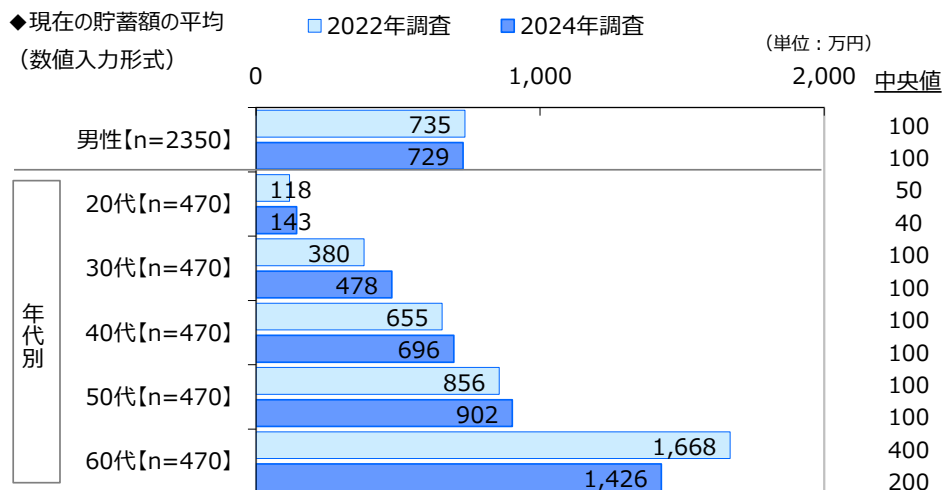
前回の調査結果と比較すると、現在の貯蓄額の平均は、全体では 30 万円の減少（2022 年 707 万円→2024 年 677 万円）、男性では 6 万円の減少（2022 年 735 万円→2024 年 729 万円）、女性では 55 万円の減少（2022 年 680 万円→2024 年 625 万円）となりました。止まらない物価上昇などにより生活コストが増えたことで、家計の貯蓄余力が低下しているのではないのでしょうか。

◆現在の貯蓄額（数値入力形式）



男女・年代別にみると、現在の貯蓄額の平均は、男性では 60 代（2022 年 1,668 万円→2024 年 1,426 万円で 242 万円減少）、女性では 40 代（2022 年 707 万円→2024 年 525 万円で 182 万円減少）で減少幅が大きくなりました。

また、中央値は、60 代男性では 2022 年 400 万円→2024 年 200 万円、50 代女性では 2022 年 200 万円→2024 年 100 万円、60 代女性では 2022 年 300 万円→2024 年 200 万円と、大きく変化しました。



都道府県別にみると、現在の貯蓄額の平均は、1位は神奈川県（1,085万円）、2位は岐阜県（1,081万円）、3位は兵庫県（1,073万円）、4位は東京都（1,065万円）、5位は島根県（1,043万円）となり、男女別では男性1位が富山県（1,542万円）、女性1位が大阪府（1,422万円）でした。

◆現在の貯蓄額の平均（数値入力形式）

全体・各都道府県【n=100】

	平均		平均		平均		平均				
1位	神奈川県	1,085万円	12位	京都府	891万円	24位	和歌山県	635万円	36位	広島県	501万円
2位	岐阜県	1,081万円	13位	富山県	885万円	25位	佐賀県	635万円	37位	福岡県	475万円
3位	兵庫県	1,073万円	14位	埼玉県	854万円	26位	愛知県	628万円	38位	三重県	468万円
4位	東京都	1,065万円	15位	宮城県	823万円	27位	千葉県	624万円	39位	北海道	461万円
5位	島根県	1,043万円	16位	大分県	817万円	28位	秋田県	613万円	40位	鳥取県	447万円
6位	石川県	978万円	17位	新潟県	709万円	29位	福井県	603万円	41位	岩手県	443万円
7位	群馬県	967万円	18位	栃木県	697万円	30位	滋賀県	579万円	42位	鹿児島県	387万円
8位	岡山県	948万円	19位	長崎県	688万円	31位	静岡県	573万円	43位	福島県	343万円
9位	山口県	943万円	20位	茨城県	684万円	32位	高知県	567万円	44位	熊本県	331万円
10位	大阪府	939万円	21位	山梨県	678万円	33位	愛媛県	561万円	45位	宮崎県	308万円
11位	奈良県	908万円	22位	徳島県	663万円	34位	沖縄県	557万円	46位	山形県	293万円
			23位	長野県	643万円	35位	香川県	511万円	47位	青森県	217万円

男性・各都道府県【n=50】

	平均		平均		平均		平均				
1位	富山県	1,542万円	12位	宮城県	981万円	24位	愛知県	620万円	36位	大阪府	456万円
2位	石川県	1,515万円	13位	京都府	981万円	25位	山梨県	618万円	37位	佐賀県	455万円
3位	兵庫県	1,421万円	14位	東京都	974万円	26位	鳥取県	610万円	38位	福島県	438万円
4位	岐阜県	1,373万円	15位	長野県	946万円	27位	山口県	602万円	39位	山形県	349万円
5位	大分県	1,350万円	16位	神奈川県	865万円	28位	静岡県	598万円	40位	鹿児島県	345万円
6位	島根県	1,136万円	17位	奈良県	859万円	29位	広島県	597万円	41位	北海道	329万円
7位	埼玉県	1,035万円	18位	群馬県	814万円	30位	三重県	578万円	42位	福井県	303万円
8位	徳島県	1,006万円	19位	滋賀県	807万円	31位	香川県	548万円	43位	宮崎県	296万円
9位	沖縄県	997万円	20位	和歌山県	796万円	32位	茨城県	540万円	44位	長崎県	267万円
10位	栃木県	990万円	21位	愛媛県	778万円	33位	福岡県	530万円	45位	岩手県	226万円
11位	秋田県	982万円	22位	千葉県	753万円	34位	新潟県	526万円	46位	熊本県	186万円
			23位	岡山県	646万円	35位	高知県	521万円	47位	青森県	175万円

女性・各都道府県【n=50】

	平均		平均		平均		平均				
1位	大阪府	1,422万円	12位	茨城県	828万円	24位	静岡県	549万円	36位	愛媛県	343万円
2位	神奈川県	1,305万円	13位	佐賀県	816万円	25位	千葉県	495万円	37位	長野県	339万円
3位	山口県	1,285万円	14位	京都府	801万円	26位	和歌山県	475万円	38位	徳島県	320万円
4位	岡山県	1,250万円	15位	岐阜県	789万円	27位	熊本県	475万円	39位	宮崎県	319万円
5位	東京都	1,156万円	16位	山梨県	738万円	28位	香川県	474万円	40位	鳥取県	283万円
6位	群馬県	1,119万円	17位	兵庫県	725万円	29位	石川県	442万円	41位	大分県	283万円
7位	長崎県	1,109万円	18位	埼玉県	674万円	30位	鹿児島県	428万円	42位	青森県	259万円
8位	奈良県	957万円	19位	宮城県	664万円	31位	福岡県	421万円	43位	福島県	248万円
9位	島根県	950万円	20位	岩手県	660万円	32位	広島県	406万円	44位	秋田県	244万円
10位	福井県	903万円	21位	愛知県	635万円	33位	栃木県	405万円	45位	山形県	237万円
11位	新潟県	893万円	22位	高知県	612万円	34位	三重県	358万円	46位	富山県	227万円
			23位	北海道	592万円	35位	滋賀県	352万円	47位	沖縄県	116万円

また、中央値を前回の調査結果と比較すると、2022年は最も高い金額（東京都 375万円）と最も低い金額（山梨県と沖縄県 50万円）に325万円の開きがあったのに対し、2024年は最も高い金額（兵庫県 185万円）と最も低い金額（青森県 8万円）の差は177万円でした。

◆現在の貯蓄額の中央値（数値入力形式） ※上位および下位を抜粋して表示

2022年調査

	中央値	
1位	東京都	375万円
2位	埼玉県	200万円
	静岡県	200万円
	三重県	200万円
...
44位	和歌山県	85万円
45位	徳島県	70万円
46位	山梨県	50万円
	沖縄県	50万円

2024年調査

	中央値	
1位	兵庫県	185万円
2位	愛知県	175万円
3位	福岡県	135万円
4位	石川県	125万円
...
43位	岩手県	25万円
	沖縄県	25万円
45位	北海道	20万円
	福島県	20万円
47位	青森県	8万円

・老後に備えてリタイアまでに準備したいお金

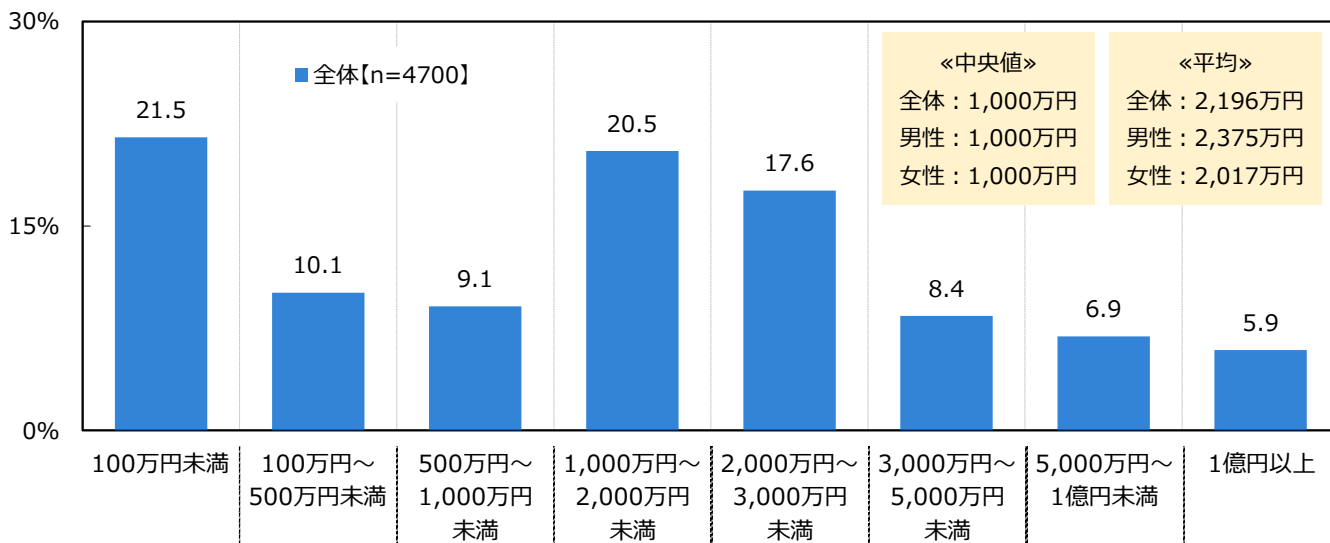
全体の平均は 2,196 万円、男性では 2,375 万円、女性では 2,017 万円

都道府県別では 1 位「神奈川県」4,040 万円、2 位「東京都」3,127 万円、3 位「茨城県」3,075 万円

また、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金を聞いたところ、「100 万円未満」（21.5%）や「1,000 万円～2,000 万円未満」（20.5%）、「2,000 万円～3,000 万円未満」（17.6%）に回答が分かれ、平均は 2,196 万円でした。

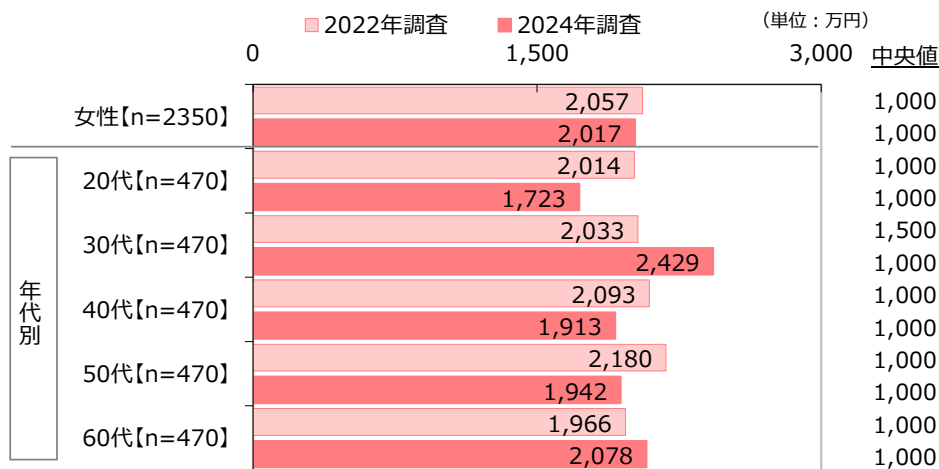
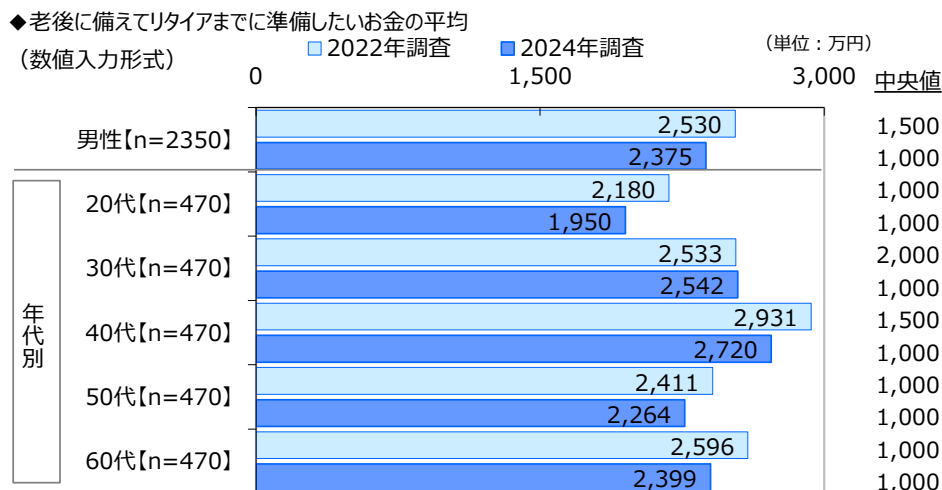
男女別にみると、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均は、男性 2,375 万円、女性 2,017 万円となりました。

◆老後に備えてリタイアまでに準備したいお金（数値入力形式）



男女・年代別にみると、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均は、男性・女性ともに 20 代（男性 2022 年 2,180 万円→2024 年 1,950 万円で 230 万円減少、女性 2022 年 2,014 万円→2024 年 1,723 万円で 291 万円減少）で減少幅が大きくなりました。

また、中央値は、30 代男性では 2022 年 2,000 万円→2024 年 1,000 万円、40 代男性では 2022 年 1,500 万円→2024 年 1,000 万円、30 代女性では 2022 年 1,500 万円→2024 年 1,000 万円と、大きく変化しました。



都道府県別にみると、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均は、1位は神奈川県（4,040万円）、2位は東京都（3,127万円）、3位は茨城県（3,075万円）、4位は沖縄県（2,984万円）、5位は福岡県（2,881万円）となり、男女別では男性1位が東京都（4,000万円）、女性1位が神奈川県（4,727万円）でした。

◆老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均（数値入力形式）

全体・各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	神奈川県	4,040万円	12位	福井県	2,502万円	23位	兵庫県	2,183万円	36位	秋田県	1,766万円
2位	東京都	3,127万円	13位	岐阜県	2,477万円	25位	群馬県	2,143万円	37位	三重県	1,761万円
3位	茨城県	3,075万円	14位	大分県	2,450万円	26位	静岡県	2,119万円	38位	山形県	1,756万円
4位	沖縄県	2,984万円	15位	島根県	2,394万円	27位	熊本県	2,088万円	39位	愛知県	1,707万円
5位	福岡県	2,881万円	16位	愛媛県	2,392万円	28位	新潟県	2,071万円	40位	広島県	1,646万円
6位	大阪府	2,859万円	17位	高知県	2,383万円	29位	滋賀県	2,061万円	41位	富山県	1,644万円
7位	埼玉県	2,849万円	18位	京都府	2,366万円	30位	宮城県	2,043万円	42位	岩手県	1,587万円
8位	石川県	2,693万円	19位	鳥取県	2,360万円	31位	香川県	1,936万円	43位	鹿児島県	1,462万円
9位	山口県	2,609万円	20位	栃木県	2,321万円	32位	徳島県	1,908万円	44位	北海道	1,431万円
10位	奈良県	2,542万円	21位	岡山県	2,271万円	33位	長野県	1,831万円	45位	佐賀県	1,347万円
11位	千葉県	2,520万円	22位	長崎県	2,251万円	34位	和歌山県	1,825万円	46位	宮崎県	1,319万円
			23位	山梨県	2,183万円	35位	福島県	1,788万円	47位	青森県	1,272万円

男性・各都道府県【n=50】

		平均			平均			平均			平均
1位	東京都	4,000万円	12位	兵庫県	2,787万円	24位	熊本県	2,146万円	36位	三重県	1,838万円
2位	石川県	3,882万円	13位	岐阜県	2,776万円	25位	長野県	2,110万円	37位	鹿児島県	1,824万円
3位	埼玉県	3,755万円	14位	栃木県	2,732万円	26位	秋田県	2,075万円	38位	和歌山県	1,790万円
4位	島根県	3,671万円	15位	滋賀県	2,476万円	27位	岡山県	2,069万円	39位	京都府	1,760万円
5位	福岡県	3,662万円	16位	沖縄県	2,394万円	28位	富山県	2,029万円	40位	広島県	1,757万円
6位	茨城県	3,574万円	17位	徳島県	2,328万円	29位	山口県	1,995万円	41位	奈良県	1,709万円
7位	大分県	3,435万円	18位	山形県	2,327万円	30位	群馬県	1,992万円	42位	北海道	1,690万円
8位	神奈川県	3,353万円	19位	山梨県	2,308万円	31位	大阪府	1,968万円	43位	宮城県	1,643万円
9位	高知県	3,231万円	20位	香川県	2,260万円	32位	長崎県	1,958万円	44位	佐賀県	1,642万円
10位	愛媛県	2,930万円	21位	千葉県	2,238万円	33位	新潟県	1,955万円	45位	宮崎県	1,554万円
11位	鳥取県	2,929万円	22位	静岡県	2,199万円	34位	愛知県	1,948万円	46位	岩手県	1,508万円
			23位	福井県	2,172万円	35位	福島県	1,871万円	47位	青森県	1,378万円

女性・各都道府県【n=50】

		平均			平均			平均			平均
1位	神奈川県	4,727万円	12位	宮城県	2,443万円	24位	愛媛県	1,853万円	36位	徳島県	1,489万円
2位	大阪府	3,750万円	13位	群馬県	2,294万円	25位	鳥取県	1,790万円	37位	愛知県	1,465万円
3位	沖縄県	3,574万円	14位	東京都	2,255万円	26位	福島県	1,705万円	38位	大分県	1,465万円
4位	奈良県	3,376万円	15位	新潟県	2,186万円	27位	三重県	1,684万円	39位	秋田県	1,457万円
5位	山口県	3,222万円	16位	岐阜県	2,178万円	28位	岩手県	1,665万円	40位	富山県	1,258万円
6位	京都府	2,973万円	17位	福岡県	2,100万円	29位	滋賀県	1,645万円	41位	山形県	1,185万円
7位	福井県	2,831万円	18位	山梨県	2,058万円	30位	香川県	1,612万円	42位	北海道	1,171万円
8位	千葉県	2,802万円	19位	静岡県	2,038万円	31位	兵庫県	1,579万円	43位	青森県	1,165万円
9位	茨城県	2,577万円	20位	熊本県	2,030万円	32位	長野県	1,553万円	44位	島根県	1,117万円
10位	長崎県	2,543万円	21位	埼玉県	1,943万円	33位	高知県	1,535万円	45位	鹿児島県	1,099万円
11位	岡山県	2,473万円	22位	栃木県	1,910万円	34位	広島県	1,534万円	46位	宮崎県	1,083万円
			23位	和歌山県	1,860万円	35位	石川県	1,504万円	47位	佐賀県	1,052万円

ここで、“老後に備えてリタイアまでに準備したいお金”と“現在の貯蓄額”の差をみると、平均と中央値のいずれも神奈川県（平均 2,955 万円、中央値 995 万円）が最も大きくなり、平均では沖縄県（2,427 万円）、福岡県（2,406 万円）、中央値では滋賀県（985 万円）、鳥取県（960 万円）が続きました。

◆「老後に備えてリタイアまでに準備したいお金－現在の貯蓄額」の平均と中央値

全体・各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	神奈川県	2,955万円	12位	高知県	1,816万円	24位	山形県	1,463万円	36位	群馬県	1,177万円
			13位	熊本県	1,757万円	25位	福島県	1,446万円	37位	秋田県	1,153万円
2位	沖縄県	2,427万円	14位	石川県	1,715万円	26位	香川県	1,426万円	38位	広島県	1,144万円
3位	福岡県	2,406万円	15位	山口県	1,665万円	27位	岐阜県	1,396万円	39位	岩手県	1,143万円
4位	茨城県	2,392万円	16位	奈良県	1,634万円	28位	新潟県	1,361万円	40位	兵庫県	1,109万円
5位	東京都	2,063万円	17位	大分県	1,633万円	29位	島根県	1,351万円	41位	愛知県	1,079万円
6位	埼玉県	1,995万円	18位	栃木県	1,624万円	30位	岡山県	1,323万円	42位	鹿児島県	1,075万円
7位	大阪府	1,920万円	19位	長崎県	1,562万円	31位	三重県	1,293万円	43位	青森県	1,054万円
8位	鳥取県	1,913万円	20位	静岡県	1,545万円	32位	徳島県	1,245万円	44位	宮崎県	1,011万円
9位	福井県	1,899万円	21位	山梨県	1,505万円	33位	宮城県	1,220万円	45位	北海道	970万円
10位	千葉県	1,896万円	22位	滋賀県	1,481万円	34位	和歌山県	1,190万円	46位	富山県	759万円
11位	愛媛県	1,831万円	23位	京都府	1,475万円	35位	長野県	1,189万円	47位	佐賀県	712万円

全体・各都道府県【n=100】

		中央値			中央値			中央値			中央値
1位	神奈川県	995万円	7位	長崎県	900万円	22位	熊本県	700万円	32位	島根県	500万円
			13位	福岡県	890万円	25位	愛知県	650万円		徳島県	500万円
2位	滋賀県	985万円	14位	山梨県	850万円	27位	和歌山県	650万円	32位	高知県	500万円
3位	鳥取県	960万円	15位	埼玉県	840万円		石川県	600万円	宮崎県	500万円	
4位	香川県	945万円	16位	愛媛県	825万円	30位	京都府	600万円	40位	福島県	495万円
5位	沖縄県	925万円	17位	東京都	800万円	31位	岡山県	600万円	41位	鹿児島県	490万円
6位	千葉県	910万円	19位	兵庫県	800万円	32位	岩手県	575万円	42位	佐賀県	480万円
7位	青森県	900万円		栃木県	750万円		群馬県	550万円	43位	宮城県	470万円
	福井県	900万円	岐阜県	750万円	茨城県	500万円	44位	秋田県	450万円		
	静岡県	900万円	大分県	750万円	新潟県	500万円	45位	山形県	445万円		
	広島県	900万円	22位	大阪府	700万円	長野県	500万円	46位	北海道	400万円	
	山口県	900万円		奈良県	700万円		三重県	500万円		富山県	400万円

*各回答者について「老後に備えてリタイアまでに準備したいお金－現在の貯蓄額」を計算し、それを都道府県単位で集計した

・おひとりさまの支出実態

半数以上が“友人との交流”“ストレス発散”には「お金を使う」、 “旅行・レジャー” “健康増進”には「お金を使わない」

・1カ月の平均支出額

「友人との交流」8,472 円、「旅行・レジャー」9,235 円、「健康増進」3,451 円、「ストレス発散」8,998 円

・1カ月に友人との交流に使っているお金（平均） 1位「沖縄県」16,560 円、2位「京都府」12,310 円

・1カ月に旅行・レジャーに使っているお金（平均） 1位「埼玉県」13,295 円、2位「岡山県」12,530 円

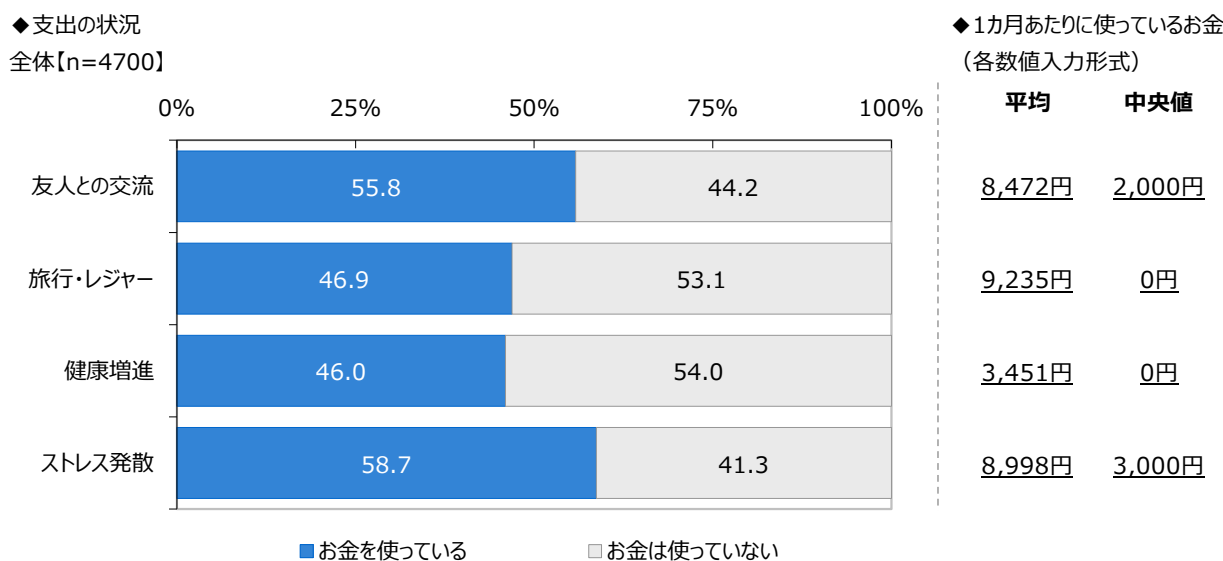
・1カ月に健康増進のために使っているお金（平均） 1位「神奈川県」5,695 円、2位「埼玉県」5,056 円

・1カ月にストレス発散に使っているお金（平均） 1位「長崎県」13,793 円、2位「滋賀県」12,400 円

続いて、支出について質問しました。

全回答者（4,700名）に、支出の状況を聞いたところ、友人との交流では「お金を使っている」は55.8%、「お金は使っていない」は44.2%、旅行・レジャーでは「お金を使っている」は46.9%、「お金は使っていない」は53.1%、健康増進では「お金を使っている」は46.0%、「お金は使っていない」は54.0%、ストレス発散では「お金を使っている」は58.7%、「お金は使っていない」は41.3%となりました。

また、1カ月あたりに使っているお金を聞いたところ、友人との交流では平均8,472円、旅行・レジャーでは平均9,235円、健康増進では平均3,451円、ストレス発散では平均8,998円でした。



都道府県別に平均をみると、“友人との交流に使っているお金”では1位は沖縄県（16,560円）、2位は京都府（12,310円）、3位は栃木県（12,285円），“旅行・レジャーに使っているお金”では1位は埼玉県（13,295円）、2位は岡山県（12,530円）、3位は福岡県（12,470円），“健康増進のために使っているお金”では1位は神奈川県（5,695円）、2位は埼玉県（5,056円）、3位は佐賀県（4,913円），“ストレス発散に使っているお金”では1位は長崎県（13,793円）、2位は滋賀県（12,400円）、3位は岐阜県（11,970円）でした。

◆友人との交流に使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	沖縄県	16,560円	11位	埼玉県	9,550円	24位	新潟県	8,100円	36位	奈良県	7,065円
2位	京都府	12,310円	13位	東京都	9,505円	25位	熊本県	8,090円	37位	香川県	6,978円
3位	栃木県	12,285円	14位	福島県	9,075円	26位	福井県	8,005円	38位	愛媛県	6,900円
4位	千葉県	11,780円	15位	滋賀県	8,820円	27位	秋田県	7,955円	39位	山口県	6,693円
5位	兵庫県	11,120円	16位	佐賀県	8,760円	28位	大阪府	7,885円	40位	福岡県	6,450円
6位	山梨県	10,710円	17位	静岡県	8,675円	29位	徳島県	7,840円	41位	高知県	6,210円
7位	岩手県	10,480円	18位	長野県	8,655円	30位	島根県	7,790円	42位	青森県	6,040円
8位	神奈川県	10,270円	19位	愛知県	8,450円	31位	富山県	7,650円	43位	和歌山県	5,993円
9位	北海道	10,085円	20位	岐阜県	8,433円	32位	石川県	7,645円	44位	山形県	5,945円
10位	長崎県	9,788円	21位	鳥取県	8,425円	33位	茨城県	7,365円	45位	三重県	5,940円
11位	宮城県	9,550円	22位	岡山県	8,410円	34位	宮崎県	7,310円	46位	大分県	5,695円
			23位	鹿児島県	8,275円	35位	群馬県	7,225円	47位	広島県	5,435円

◆旅行・レジャーに使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	埼玉県	13,295円	12位	栃木県	10,680円	24位	岩手県	9,096円	36位	静岡県	7,770円
2位	岡山県	12,530円	13位	群馬県	10,435円	25位	鳥取県	9,070円	37位	愛知県	7,600円
3位	福岡県	12,470円	14位	大阪府	10,288円	26位	千葉県	8,950円	38位	宮城県	7,546円
4位	熊本県	12,410円	15位	京都府	10,030円	27位	東京都	8,670円	39位	福島県	7,506円
5位	高知県	12,220円	16位	長崎県	9,885円	28位	新潟県	8,652円	40位	茨城県	7,472円
6位	兵庫県	12,150円	17位	滋賀県	9,800円	29位	徳島県	8,645円	41位	和歌山県	7,170円
7位	石川県	11,963円	18位	富山県	9,750円	30位	鹿児島県	8,640円	42位	宮崎県	7,160円
8位	秋田県	11,790円	19位	三重県	9,440円	31位	佐賀県	8,333円	43位	青森県	6,651円
9位	島根県	11,241円	20位	福井県	9,375円	32位	奈良県	8,081円	44位	山形県	6,201円
10位	愛媛県	10,910円	21位	岐阜県	9,340円	33位	北海道	8,040円	45位	広島県	6,025円
11位	香川県	10,795円	22位	沖縄県	9,305円	34位	大分県	7,882円	46位	山梨県	5,841円
			23位	神奈川県	9,300円	35位	長野県	7,827円	47位	山口県	5,791円

◆健康増進のために使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	神奈川県	5,695円	12位	岐阜県	3,815円	24位	長崎県	3,506円	36位	和歌山県	2,818円
2位	埼玉県	5,056円	13位	京都府	3,756円	25位	福井県	3,452円	37位	富山県	2,710円
3位	佐賀県	4,913円	14位	岩手県	3,740円	26位	宮崎県	3,395円	38位	香川県	2,690円
4位	兵庫県	4,730円	15位	長野県	3,685円	27位	群馬県	3,375円	39位	静岡県	2,630円
5位	東京都	4,675円	16位	大阪府	3,660円	28位	三重県	3,353円	40位	広島県	2,520円
6位	新潟県	4,380円	17位	滋賀県	3,655円	29位	宮城県	3,330円	41位	高知県	2,402円
7位	福島県	4,359円	18位	奈良県	3,621円	30位	徳島県	3,292円	42位	山梨県	2,386円
8位	愛媛県	4,215円	19位	千葉県	3,611円	31位	石川県	3,264円	43位	愛知県	2,350円
9位	山口県	4,107円	20位	福岡県	3,575円	32位	秋田県	3,215円	44位	鳥取県	2,309円
10位	沖縄県	4,025円	21位	鹿児島県	3,550円	33位	岡山県	3,136円	45位	島根県	2,280円
11位	熊本県	3,930円	22位	茨城県	3,532円	34位	北海道	3,100円	46位	大分県	2,179円
			23位	栃木県	3,519円	35位	青森県	2,942円	47位	山形県	1,740円

◆ストレス発散に使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		平均			平均			平均			平均
1位	長崎県	13,793円	12位	熊本県	9,890円	24位	長野県	9,105円	36位	鹿児島県	8,110円
2位	滋賀県	12,400円	13位	岡山県	9,715円	25位	静岡県	9,020円	37位	山口県	8,016円
3位	岐阜県	11,970円	14位	秋田県	9,612円	26位	愛知県	8,995円	38位	和歌山県	7,877円
4位	岩手県	11,691円	15位	香川県	9,548円	27位	神奈川県	8,977円	39位	千葉県	7,350円
5位	富山県	11,120円	16位	兵庫県	9,525円	28位	栃木県	8,948円	40位	山梨県	7,185円
6位	埼玉県	10,835円	17位	高知県	9,510円	29位	広島県	8,805円	41位	奈良県	7,150円
7位	京都府	10,821円	18位	北海道	9,475円	30位	鳥取県	8,767円	42位	福島県	6,736円
8位	沖縄県	10,796円	19位	群馬県	9,456円	31位	大阪府	8,747円	43位	新潟県	6,026円
9位	愛媛県	10,512円	20位	福岡県	9,340円	32位	東京都	8,555円	44位	山形県	5,963円
10位	徳島県	10,002円	21位	佐賀県	9,320円	33位	三重県	8,325円	45位	宮城県	5,730円
11位	茨城県	9,920円	22位	石川県	9,167円	34位	宮崎県	8,235円	46位	青森県	5,560円
			23位	福井県	9,153円	35位	島根県	8,170円	47位	大分県	4,991円

◆将来への不安について

・将来について不安を感じる事 TOP2 は「老後の生活費」「自身の病気」

男性では「自身の病気」、女性では「老後の生活費」が1位

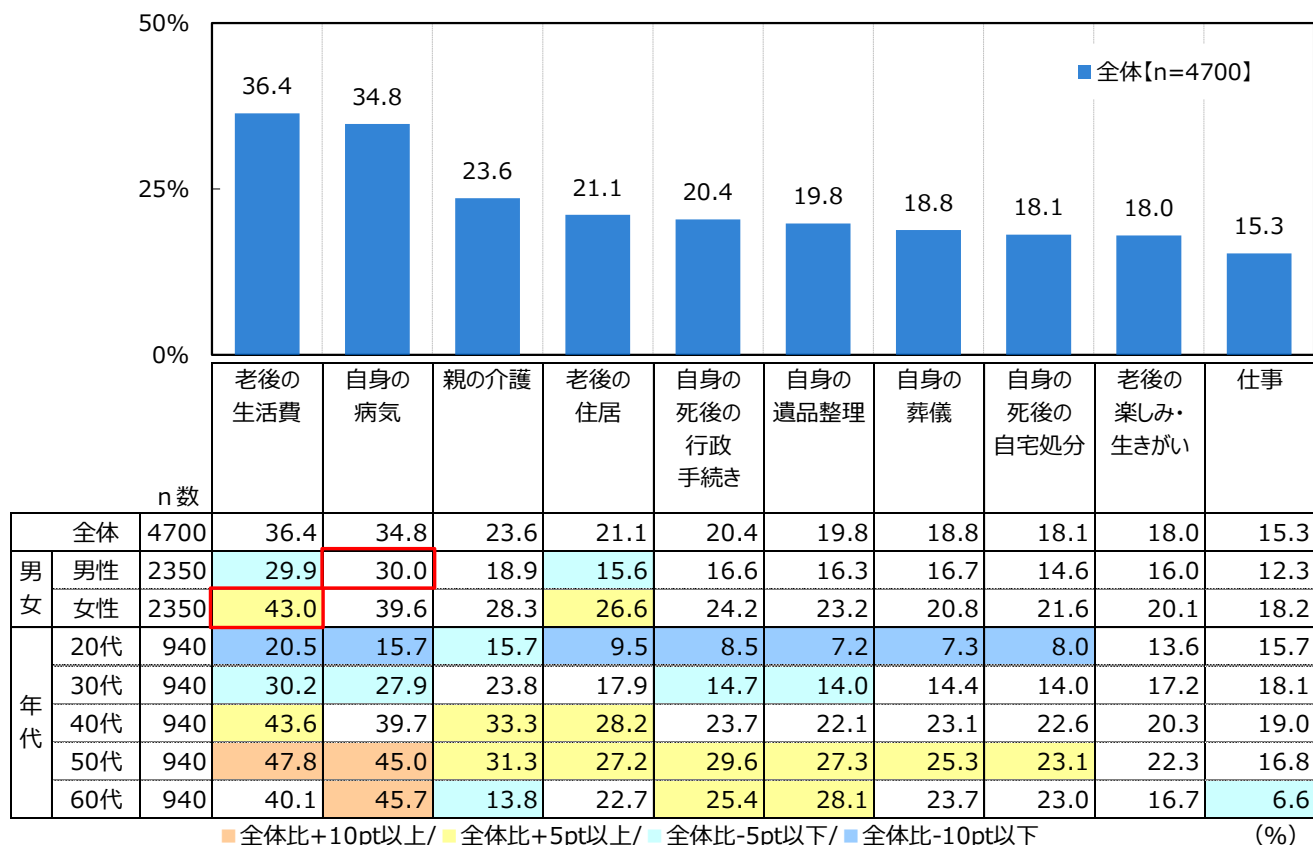
将来に対する不安について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自身の将来について、どのようなことに不安を感じるか聞いたところ、「老後の生活費」（36.4%）と「自身の病気」（34.8%）が特に高くなりました。経済面や健康面について不安を抱いている人が多いようです。次いで高くなったのは、「親の介護」（23.6%）、「老後の住居」（21.1%）、「自身の死後の行政手続き」（20.4%）でした。

男女別にみると、男性では「自身の病気」（30.0%）、女性では「老後の生活費」（43.0%）が1位でした。

年代別にみると、「自身の病気」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、60代では45.7%となりました。

◆自身の将来について、どのようなことに不安を感じるか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆“ひとり○○”について

・一人で行う“ひとり○○”への抵抗感 半数以上が「抵抗がある」と感じるのは

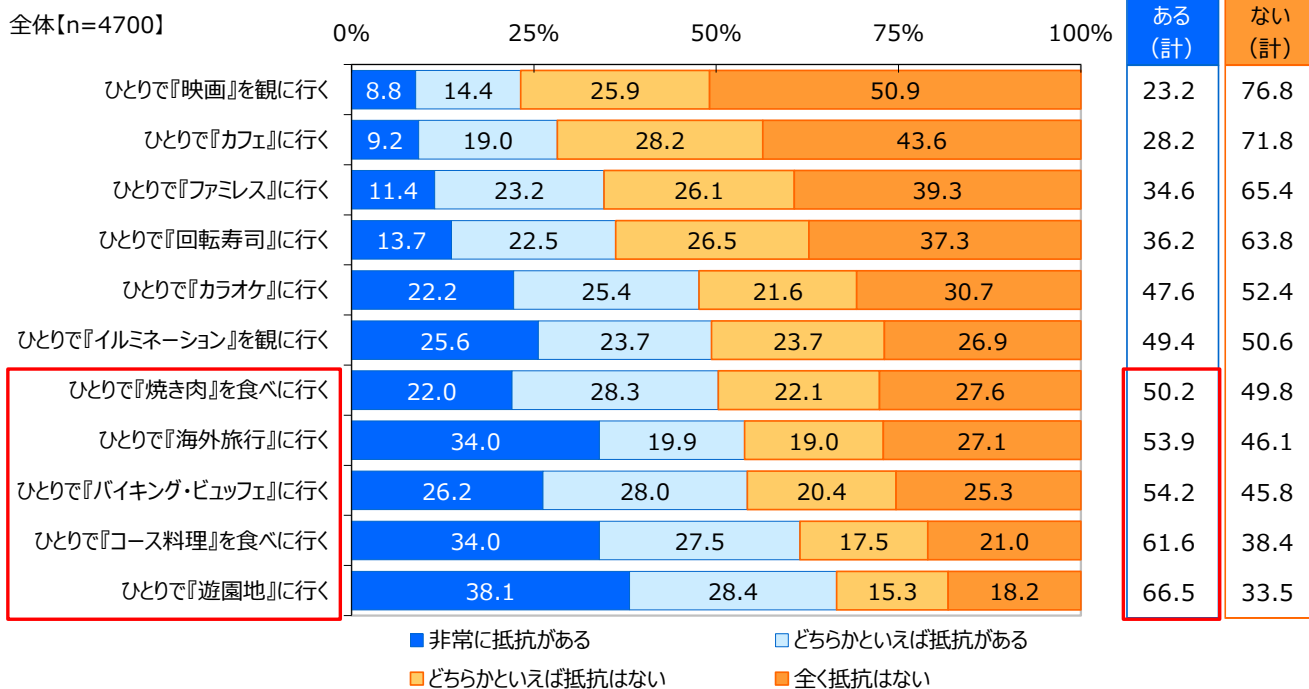
“ひとり焼き肉”“ひとり海外旅行”“ひとりバイキング・ビュッフェ”“ひとりコース料理”“ひとり遊園地”

おひとりさまが一人で行う“ひとり○○”について質問しました。

全回答者（4,700名）に、一人で行う“ひとり○○”を複数提示し、それぞれどのくらい抵抗があるか聞いたところ、『抵抗がある（計）』（「非常に抵抗がある」と「どちらかといえば抵抗がある」の合計）と回答した人の割合が半数以上になったのは【ひとりで『焼き肉』を食べに行く】（50.2%）、【ひとりで『海外旅行』に行く】（53.9%）、【ひとりで『バイキング・ビュッフェ』に行く】（54.2%）、【ひとりで『コース料理』を食べに行く】（61.6%）、【ひとりで『遊園地』に行く】（66.5%）、半数未満になったのは【ひとりで『イルミネーション』を観に行く】（49.4%）、【ひとりで『カラオケ』に行く】（47.6%）、【ひとりで『回転寿司』に行く】（36.2%）、【ひとりで『ファミレス』に行く】（34.6%）、【ひとりで『カフェ』に行く】（28.2%）、【ひとりで『映画』を観に行く】（23.2%）でした。

飲食関連では、カフェやファミレス、回転寿司に一人で行くのは抵抗がなくても、焼き肉やバイキング・ビュッフェ、コース料理に一人で行くのはハードルが高いと感じる人が多いようです。また、レジャー関連では、映画やカラオケ、イルミネーションに一人で行くのは抵抗がなくても、海外旅行や遊園地に一人で行くのは気が進まないと感じる人が多い結果となりました。

◆一人で行う“ひとり○○”について、どのくらい抵抗があるか（各単一回答形式）



男女別にみると、男性・女性ともに『コース料理』と『遊園地』は半数以上が「抵抗がある」と回答し、女性では『イルミネーション』『焼き肉』『海外旅行』『バイキング・ビュッフェ』でも半数以上が「抵抗がある」と回答しました。

年代別にみると、いずれの年代でも『バイキング・ビュッフェ』『コース料理』『遊園地』は半数以上が「抵抗がある」と回答し、20代から50代では『海外旅行』、20代から40代では『イルミネーション』、40代から60代では『カラオケ』、40代と50代では『焼き肉』でも半数以上が「抵抗がある」と回答しました。

◆一人で行う“ひとり○○”について、半数以上が「抵抗がある」と回答したもの

*項目：カフェ／映画／ファミレス／回転寿司／カラオケ／イルミネーション／焼き肉／海外旅行／バイキング・ビュッフェ／コース料理／遊園地

男性【n=2350】	%	女性【n=2350】	%
コース料理	53.4	イルミネーション	53.8
遊園地	60.8	焼き肉	59.3
		海外旅行	62.6
		バイキング・ビュッフェ	63.1
		コース料理	69.8
		遊園地	72.2

20代【n=940】	%	30代【n=940】	%	40代【n=940】	%	50代【n=940】	%	60代【n=940】	%
イルミネーション	53.4	イルミネーション	51.2	カラオケ	51.1	カラオケ	57.1	カラオケ	53.1
海外旅行	56.7	海外旅行	55.5	イルミネーション	51.4	焼き肉	53.4	バイキング・ビュッフェ	50.6
バイキング・ビュッフェ	51.9	バイキング・ビュッフェ	54.5	焼き肉	52.6	海外旅行	53.7	コース料理	57.1
コース料理	59.6	コース料理	61.4	海外旅行	54.9	バイキング・ビュッフェ	57.4	遊園地	64.8
遊園地	63.9	遊園地	64.7	バイキング・ビュッフェ	56.7	コース料理	66.1		
				コース料理	63.7	遊園地	70.3		
				遊園地	68.6				

【参考（一覧）】

◆一人で行う“ひとり○○”への抵抗感（○：「抵抗あり」が半数以上）

	男女		年代				
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
カフェ							
映画							
ファミレス							
回転寿司							
カラオケ					○	○	○
イルミネーション		○	○	○	○		
焼き肉		○			○	○	
海外旅行		○	○	○	○	○	
バイキング・ビュッフェ		○	○	○	○	○	○
コース料理	○	○	○	○	○	○	○
遊園地	○	○	○	○	○	○	○

◆“おひとりさまあるある”について

・“おひとりさまあるある”

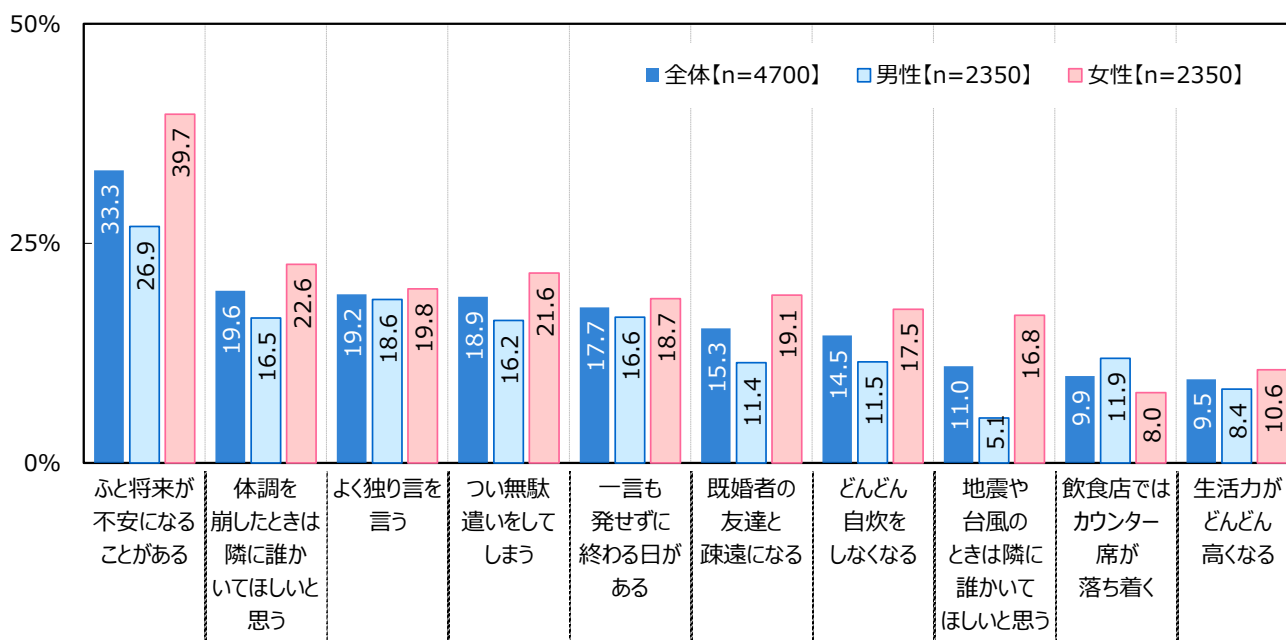
TOP3「ふと将来が不安になることがある」「体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う」「よく独り言を言う」

“おひとりさまあるある”について質問しました。

全回答者（4,700名）に、ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞いを聞いたところ、「ふと将来が不安になることがある」（33.3%）が最も高くなり、「体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う」（19.6%）、「よく独り言を言う」（19.2%）、「つい無駄遣いをしてしまう」（18.9%）、「一言も発せずに終わる日がある」（17.7%）が続きました。

男女別に見ると、女性では「ふと将来が不安になることがある」が39.7%、「地震や台風のとときは隣に誰かいてほしいと思う」が16.8%と、男性（順に26.9%、5.1%）と比べて10ポイント以上高くなりました。女性には、不安や心細さを感じたときに誰かが近くにいるほしいと思う経験をした人が多いのではないのでしょうか。

◆ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞い（複数回答形式） ※上位10位までを表示



男女・年代別にみると、30代男性の4位と60代男性の5位には「飲食店ではカウンター席が落ち着く」、20代女性の5位と60代女性の4位には「地震や台風のときは隣に誰かいてほしいと思う」、30代から50代女性の3位には「既婚者の友達と疎遠になる」、20代女性の5位には「ひとり行動している人に仲間意識を持つ」、50代女性の4位には「どんどん自炊をしなくなる」が挙がりました。

◆ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞い（複数回答形式） ※上位5位までを表示

20代男性【n=470】			30代男性【n=470】		
順位	特徴	%	順位	特徴	%
1位	ふと将来が不安になることがある	17.7	1位	ふと将来が不安になることがある	18.5
2位	よく独り言を言う	13.8	2位	よく独り言を言う	16.4
3位	つい無駄遣いをしてしまう	12.6	3位	つい無駄遣いをしてしまう	15.3
4位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	9.6	4位	飲食店ではカウンター席が落ち着く	11.1
	一言も発せずに終わる日がある	9.6		5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う

40代男性【n=470】		%	50代男性【n=470】		%	60代男性【n=470】		%
1位	ふと将来が不安になることがある	27.7	1位	ふと将来が不安になることがある	31.9	1位	ふと将来が不安になることがある	38.7
2位	よく独り言を言う	23.0	2位	よく独り言を言う	22.1	2位	一言も発せずに終わる日がある	24.7
3位	つい無駄遣いをしてしまう	20.4	3位	一言も発せずに終わる日がある	19.6	3位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	23.4
4位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	20.0	4位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	18.7	4位	よく独り言を言う	17.9
5位	一言も発せずに終わる日がある	18.9	5位	つい無駄遣いをしてしまう	17.7	5位	飲食店ではカウンター席が落ち着く	16.4

20代女性【n=470】		%	30代女性【n=470】		%
1位	ふと将来が不安になることがある	28.9	1位	ふと将来が不安になることがある	39.6
2位	つい無駄遣いをしてしまう	17.4	2位	つい無駄遣いをしてしまう	26.2
3位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	15.3	3位	既婚者の友達と疎遠になる	21.9
4位	よく独り言を言う	14.0	4位	よく独り言を言う	19.6
5位	地震や台風のときは隣に誰かいてほしいと思う	11.5	5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	18.5
	ひとり行動している人に仲間意識を持つ	11.5			

40代女性【n=470】		%	50代女性【n=470】		%	60代女性【n=470】		%
1位	ふと将来が不安になることがある	44.5	1位	ふと将来が不安になることがある	47.9	1位	ふと将来が不安になることがある	37.9
2位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	24.0	2位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	27.0	2位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	28.3
3位	既婚者の友達と疎遠になる	23.8	3位	既婚者の友達と疎遠になる	25.5	3位	一言も発せずに終わる日がある	23.6
4位	つい無駄遣いをしてしまう	23.6	4位	どんどん自炊をしなくなる	24.3	4位	よく独り言を言う	19.8
5位	よく独り言を言う	22.3	5位	よく独り言を言う	23.4		地震や台風のときは隣に誰かいてほしいと思う	19.8

◆“おひとりさま”と芸能人

・おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人

1位「明石家さんまさん」2位「今田耕司さん」3位「天海祐希さん」

20代では「いとうあさこさん」が1位

最後に、“おひとりさま”をテーマにイメージに合うと思う芸能人について質問しました。

全回答者（4,700名）に、おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人を聞いたところ、1位「明石家さんまさん」（205名）、2位「今田耕司さん」（173名）、3位「天海祐希さん」（143名）、4位「中居正広さん」（130名）、5位「いとうあさこさん」（104名）となりました。

理由をみると、1位の明石家さんまさんでは「仕事もプライベートも楽しそう」（50代男性）や「常に明るくイキイキしている」（40代女性）、「一人を謳歌している」（50代女性）、2位の今田耕司さんでは「仕事も順調そうでいつまでも若々しい」（50代女性）や「独身であることをネタにしている」（30代女性）、「アローン会が楽しそう」（60代女性）、3位の天海祐希さんでは「強く女性らしく憧れる」（20代女性）や「自立していて凜としている」（30代女性）、「自分らしい姿が素敵に見える」（40代女性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の1位は「明石家さんまさん」（152名）、女性回答の1位は「天海祐希さん」（128名）でした。

年代別にみると、20代の1位は「いとうあさこさん」、30代と60代の1位は「明石家さんまさん」、40代と50代の1位は「今田耕司さん」でした。

◆おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
1位	明石家さんま	205名	1位	明石家さんま	152名	1位	天海祐希	128名
2位	今田耕司	173名	2位	今田耕司	134名	2位	いとうあさこ	94名
3位	天海祐希	143名	3位	中居正広	63名	3位	中居正広	67名
4位	中居正広	130名	4位	石田ゆり子	16名	4位	石田ゆり子	65名
5位	いとうあさこ	104名	5位	天海祐希	15名	5位	大久保佳代子	54名
6位	石田ゆり子	81名		ヒロシ	15名	6位	明石家さんま	53名
7位	大久保佳代子	66名	7位	大久保佳代子	12名		久本雅美	53名
8位	久本雅美	61名	8位	黒柳徹子	11名	8位	今田耕司	39名
9位	黒柳徹子	28名		徳井義実	11名	9位	マツコ・デラックス	20名
	マツコ・デラックス	28名	10位	いとうあさこ	10名	10位	黒柳徹子	17名
				ケンドーコバヤシ	10名			

20代【n=940】		30代【n=940】	
1位	いとうあさこ 28名	1位	明石家さんま 38名
2位	明石家さんま 25名	2位	中居正広 27名
3位	今田耕司 17名	3位	天海祐希 26名
4位	中居正広 15名	4位	今田耕司 23名
5位	天海祐希 14名	5位	いとうあさこ 17名

40代【n=940】		50代【n=940】		60代【n=940】	
1位	今田耕司 46名	1位	今田耕司 49名	1位	明石家さんま 60名
2位	明石家さんま 41名	2位	天海祐希 48名	2位	今田耕司 38名
3位	中居正広 29名	3位	明石家さんま 41名	3位	天海祐希 32名
4位	いとうあさこ 27名	4位	中居正広 35名	4位	中居正広 24名
5位	天海祐希 23名	5位	石田ゆり子 30名	5位	石田ゆり子 21名

前回の調査結果と比較すると、2022 年は 1 位「明石家さんまさん」、2 位「今田耕司さん」、3 位「天海祐希さん」と、TOP3 は同じ結果となりました。

◆おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人（自由回答形式）

※上位10位までを表示

2022年調査： 全体【n=4700】			2024年調査： 全体【n=4700】		
1位	明石家さんま	293名	1位	明石家さんま	205名
2位	今田耕司	242名	2位	今田耕司	173名
3位	天海祐希	149名	3位	天海祐希	143名
4位	久本雅美	148名	4位	中居正広	130名
5位	中居正広	125名	5位	いとうあさこ	104名
6位	石田ゆり子	120名	6位	石田ゆり子	81名
7位	いとうあさこ	90名	7位	大久保佳代子	66名
8位	大久保佳代子	71名	8位	久本雅美	61名
9位	マツコ・デラックス	46名	9位	黒柳徹子	28名
10位	米倉涼子	37名		マツコ・デラックス	28名

・おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人

男性回答 1位は「新垣結衣さん」、女性回答 1位は「福山雅治さん」

おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人を聞いたところ、1位「福山雅治さん」（125名）、2位「新垣結衣さん」（57名）、3位「岡村隆史さん」（51名）、4位「木村拓哉さん」（39名）、5位「有吉弘行さん」（29名）となりました。

理由をみると、1位の福山雅治さんでは「永遠の憧れでいてほしかった」（30代女性）や「素敵なお男性だから」（60代女性）、「独身のイメージが強い」（40代女性）、2位の新垣結衣さんでは「みんなのガッキーでいてほしかった」（30代女性）や「独身の希望になってほしかった」（30代男性）、「推しの芸能人なので」（60代男性）、3位の岡村隆史さんでは「一人のイメージが強かった」（50代男性）や「ネタとして話しているのが面白かった」（50代男性）、「結婚のイメージが沸かなかった」（50代女性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の1位は「新垣結衣さん」（43名）、女性回答の1位は「福山雅治さん」（90名）となり、年代別にみると、すべての年代で「福山雅治さん」が1位でした。福山雅治さんはどの年代のおひとりさまにとっても“永遠の憧れ”といった存在ではないでしょうか。

◆おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
1位	福山雅治	125名	1位	新垣結衣	43名	1位	福山雅治	90名
2位	新垣結衣	57名	2位	岡村隆史	39名	2位	木村拓哉	27名
3位	岡村隆史	51名	3位	福山雅治	35名	3位	新垣結衣	14名
4位	木村拓哉	39名	4位	松本人志	23名		佐々木蔵之介	14名
5位	有吉弘行	29名	5位	有吉弘行	21名		堂本剛	14名
6位	松本人志	25名	6位	石原さとみ	13名		二宮和也	14名
7位	二宮和也	17名	7位	木村拓哉	12名	7位	岡村隆史	12名
8位	佐々木蔵之介	16名	8位	北川景子	9名	8位	高橋一生	11名
9位	石原さとみ	15名	9位	星野源	8名	10位	西島秀俊	11名
	堂本剛	15名	10位	上戸彩	7名		菅田将暉	9名

20代【n=940】			30代【n=940】		
1位	福山雅治	12名	1位	福山雅治	13名
2位	有吉弘行	10名	2位	新垣結衣	12名
3位	二宮和也	9名	3位	木村拓哉	9名
4位	新垣結衣	8名	4位	岡村隆史	8名
5位	岡村隆史	6名	5位	松本人志	7名

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
1位	福山雅治	26名	1位	福山雅治	40名	1位	福山雅治	34名
2位	新垣結衣	14名	2位	岡村隆史	17名	2位	木村拓哉	10名
3位	岡村隆史	13名	3位	新垣結衣	16名	3位	新垣結衣	7名
	木村拓哉	13名	4位	佐々木蔵之介	7名		岡村隆史	7名
5位	松本人志	11名	5位	木村拓哉	5名	5位	桃井かおり	5名
				高橋一生	5名			
				西島秀俊	5名			

・おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人

1位「ファーストサマーウイカさん」2位「田中圭さん」3位「志田未来さん」

おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人を聞いたところ、1位「ファーストサマーウイカさん」（31名）、2位「田中圭さん」（19名）、3位「志田未来さん」（18名）、4位「風間俊介さん」「鈴木亮平さん」（いずれも16名）となりました。

理由をみると、1位のファーストサマーウイカさんでは「生活感を出さないし、いつも綺麗だから」（50代女性）や「自由に暮らしているようなイメージだった」（50代女性）、「一人で何でもこなせそう」（20代女性）、2位の田中圭さんでは「家庭を持っているという雰囲気あまり感じなかった」（50代男性）や「奥さんのお話に驚いたのを覚えている」（20代女性）、3位の志田未来さんでは「子役のイメージが強い」（60代女性）や「ずっと若いイメージ」（50代男性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の1位は「田中卓志さん」（11名）、女性回答の1位は「ファーストサマーウイカさん」（21名）でした。

年代別にみると、20代の1位は「田中圭さん」、30代から50代の1位は「ファーストサマーウイカさん」、60代の1位は「風間俊介さん」でした。

◆おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
1位	ファーストサマーウイカ	31名	1位	田中卓志	11名	1位	ファーストサマーウイカ	21名
2位	田中圭	19名		木村拓哉	10名	2位	風間俊介	16名
3位	志田未来	18名	2位	出川哲朗	10名		田中圭	16名
4位	風間俊介	16名		ファーストサマーウイカ	10名	4位	鈴木亮平	13名
	鈴木亮平	16名	5位	岡村隆史	9名	5位	志田未来	10名
6位	出川哲朗	14名	6位	志田未来	8名		ディーン・フジオカ	10名
7位	木村拓哉	13名	7位	有吉弘行	7名	7位	福山雅治	8名
	岡村隆史	12名		多部未華子	7名	8位	浅野ゆう子	7名
8位	田中卓志	12名	9位	山里亮太	6名		織田裕二	6名
	ディーン・フジオカ	12名	10位	阿部寛 / 石原さとみ 上戸彩 / 劇団ひとり 松本人志	5名	9位	堂本剛	6名
							柳楽優弥	6名

20代【n=940】			30代【n=940】		
1位	田中圭	7名	1位	ファーストサマーウイカ	8名
2位	有吉弘行	5名	2位	木村拓哉	6名
3位	志田未来 / 鈴木亮平 田中卓志 / バカリズム 山里亮太	3名	3位	堂本剛	5名
			4位	ディーン・フジオカ 志田未来 / 柳楽優弥	4名

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
1位	ファーストサマーウイカ	7名	1位	ファーストサマーウイカ	9名	1位	風間俊介	7名
2位	鈴木亮平	6名	2位	田中圭	7名	2位	浅野ゆう子	6名
	阿部寛	5名	3位	出川哲朗	6名	3位	ファーストサマーウイカ	5名
3位	岡村隆史	5名	4位	鈴木亮平	5名	4位	志田未来	4名
	志田未来	5名	5位	田中卓志	4名	5位	石原さとみ / 和田アキ子 タモリ / ディーン・フジオカ 佐々木蔵之介 / 出川哲朗	3名

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、
内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : おひとりさまに関する調査 2024
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の未婚男女
- ◆調査期間 : 2024年11月1日～11月22日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から、各都道府県で男女・年代が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563